



- 2 ~ 3 東日本大震災から 2 年
- 4 ~ 5 八戸市の財政「財務諸表 4 表」
- 6 ~ 9 市職員の給与・定員管理の状況
- 10 ~ 11 市営バス 4 月 1 日ダイヤ改正
- 12 「hotto suru email」 now
in English + simple Japanese
- 13 消費生活センターだより 2013
- 14 ~ 23 おしらせ
- 24 ~ 27 学・遊・館
- 28 ~ 31 新成人代表者と市長 八戸を語る
- 32 学校支援ボランティアが行く など

1 月 13 日、市体育館において、新成人となった市民 2,224 人（12 月末現在）のうち、1,965 人が出席して、「平成 25 年八戸市成人式」が開催されました。新成人の皆さんの八戸への想いは、28 ページからの特集をご覧ください。



八戸市の人口		12 月末現在	(前月比)
人 □	240,422 人	(79 人減)	
うち男	115,385 人	(42 人減)	
うち女	125,037 人	(37 人減)	
世帯数	104,915 世帯	(31 世帯減)	
出 生	180 人	(31 人増)	
死 亡	243 人	(12 人増)	

◎外国人住民を含む
◎出生・死亡は12月届出分



津波の恐ろしさを忘れない ～東日本大震災から2年～

固防災危機管理課 ☎ 43・2147 ☎ 45・0099

東日本大震災から間もなく2年が経過します。

震災による全国の死者は1万5879人、行方不明者は2712人（24年12月26日警察庁発表）

となっており、多くの尊い命が奪われました。

津波から命を守るためには避難することが大切です。

日ごろから避難場所の確認や非常持出品の準備を行い、いざという時に備えましょう。

八戸市の主な被害

【人的被害】 **死** 1人（岩手県内で死亡した八戸市民4人）
行方不明 1人（岩手県内で行方不明となった八戸市民1人）
重傷 18人（うち4人は23年4月7日の余震による負傷者）
軽傷 52人（うち1人は23年4月7日の余震による負傷者）

【建物被害】

	住家	非住家（津波分）	計
全壊	254棟	347棟	601棟
大規模半壊	147棟	261棟	408棟
半壊	477棟	538棟	1,015棟
計	878棟	1,146棟	2,024棟

【被害額】 約1212億円



東日本大震災写真展

東日本大震災の市内の被災状況を撮影した写真を展示します。

期間 3月7日(木)～15日(金) (12日(火)は休館日)
時間 午前9時～午後9時 (15日(金)は午後5時まで)
場所 はっち1階はっちひろば

3月7日から気象庁発表の津波警報が変わります

☎ 青森地方気象台防災業務課 ☎ 017・741・7413 FAX 017・741・7577

🌐 <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tsunamikeihou/index.html>

東北地方太平洋沖地震による津波を踏まえ、3月7日(木)正午から、簡潔で避難行動に結びつく表現、情報精度と発表タイミングを考慮した表現、重要事項が分かる表現に改善した津波警報等の運用を開始します。

■マグニチュード8を超える巨大地震の場合

「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます

▷東北地方太平洋沖地震のような巨大地震の場合は、正しい地震の規模をすぐには把握できないため、その海域における最大級の津波を想定して、大津波警報や津波警報を発表します。

▷このとき、最初の津波警報では、予想される津波の高さを、「巨大」、「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。

「巨大」という言葉を見たり聞いたりしたら、東日本大震災クラスの津波が来ると思って、直ちにより高い場所に避難しましょう。

■正確な地震の規模が分かった場合

予想される津波の高さを、1m、3m、5m、10m、10m 超の5段階で発表します

▷予想される津波の高さについて、被害との関係などを踏まえ、5段階に集約します。

警報・注意報 の分類	発表する津波の高さ		とるべき行動
	巨大地震の場合 (マグニチュード8を超える)	マグニチュード8以下、 正確な規模が判明した場合	
大津波警報	巨大	10m超	沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や津波避難ビル など安全な場所へ避難してくだ さい。
		10m	
		5m	
津波警報	高い	3m	
津波注意報		1m	海の中にいる人は、ただちに海 から上がって、海岸から離れて ください。

▷発表値毎の予想される津波の高さと想定される被害。

警報・注意報 の分類	予想される津波の高さ		想定される被害
	発表する値	高さの区分	
大津波警報	10m超	10m～	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m	5m～10m	
	5m	3m～5m	
津波警報	3m	1m～3m	標高の低い所では津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波の流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m	20cm～1m	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

平成 23 年度末現在 普通会計
バランスシート・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書

「財務諸表4表」を公表します

☎ 財政課 ☎ 内線 169 ☎ FAX 47・0722

市では市民の皆さんにより詳しく財政状況を理解していただくために、「総務省方式改訂モデル」を用いて財務諸表（バランスシート・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書）を作成しています。

市の財政状況を詳細に分析することにより、資産と負債の適切な管理を図り、より効率的な財政運営を行っていきます。

※ 普通会計
自治体間の財政比較のため用いられている会計区分です。

バランスシート

「バランスシート」は、市民の皆さんが利用する市の施設（財産）、市の所有する現金や債権、資産形成のために投資された資金などがどのくらいあるかを示したもので、資産・負債・純資産の三つの要素から成り立っています。

資産	3,209 億円	負債	1,109 億円
市が所有している財産の内容と金額です。		借入金（地方債）や将来の職員の退職手当など、将来世代の負担で返済していく債務です。	
【内訳】		純資産	2,100 億円
▷ 公共資産	2,776 億円	公共施設や基金などの資産のうち、すでに支払いが済んでいる正味の資産です。	
道路、公園、学校、庁舎など			
▷ 投資など	328 億円		
基金、出資金、長期延滞債権など			
▷ 流動資産	105 億円		
現金・預金、財政調整基金、市税未収金など			
（うち歳計現金	43 億円）		
		計	3,209 億円
計	3,209 億円		

行政コスト計算書

市の行政活動は、福祉や教育などにおける人的サービスや給付サービスの提供など、資産形成につながらない行政サービスが大きな比重を占めています。「行政コスト計算書」は、そのためのコスト（原価・費用）がいくらかかっているかを整理したものです。

23 年度の八戸市の 1 年間のコストの総額は 798 億円となります。

メモ

行政コスト計算書の純経常行政コストは、純資産変動計算書の純経常行政コストと一致します。

経常行政コスト（A）	798 億円
【内訳】	
▷ 人にかかるコスト	101 億円
職員の給与など	
▷ 物にかかるコスト	220 億円
光熱水費、施設などの修繕費、各種委託料、減価償却費など	
▷ 移転支出的なコスト	460 億円
生活保護費などの社会保障費、各種補助金、繰出金など	
▷ そのほかのコスト	17 億円
地方債の利子など	
経常収益（B）	28 億円
純経常行政コスト（A）－（B）	770 億円
経常行政コストから経常収益を差し引いた純粋な行政コスト	

純資産変動計算書

「純資産変動計算書」は、市の純資産（正味の資産）が、23 年度中にどのように増減したかを示します。23 年度の市の純資産は公共資産の増加などにより 107 億円増加しています。

期首（22 年度末）純資産残高	1,993 億円
当期変動高	107 億円
【内訳】	
▷ 純経常行政コスト	△ 770 億円
▷ 一般財源等	886 億円
▷ そのほか	△ 9 億円
期末（23 年度末）純資産残高	2,100 億円



純資産が増加していれば、将来世代のために資産を積み増していることがわかるよ。

メモ

純資産変動計算書の期末純資産残高は、バランスシートの純資産と一致します。

資金収支計算書

「資金収支計算書」は、市の現金の動きについて、どのような理由で増減しているかを性質別に区分して整理したものです。

23 年度の資金収支は 1 億円の黒字となり、現金の残高は 23 年度末時点で 43 億円となっています。

資金収支計算書を見ると、市の 1 年間の現金の動きがわかるよ。



期首（22 年度末）歳計現金残高	42 億円
当期収支	1 億円
【内訳】	
▷ 経常的収支	219 億円
▷ 公共資産整備収支	△ 58 億円
▷ 投資・財務的収支	△ 160 億円
期末（23 年度末）歳計現金残高	43 億円

メモ

資金収支計算書の期末歳計現金残高は、バランスシートの歳計現金と一致します。



チェック！ バランスシート 前年度との比較

資産	負債 △ 15 億円
92 億円	純資産 107 億円

資産の増の主なもの、有形固定資産が 36 億円、財政調整基金・市債管理基金を合わせて 16 億円となっています。

負債の減の主なもの、地方債が 7 億円、退職手当引当金が 4 億円となっています。

純資産の増の主なもの、公共資産等整備一般財源等が 86 億円となっています。

チェック！

市民 1 人あたりの バランスシート



資産	負債 46 万円
133 万円	純資産 87 万円

市民 1 人あたり 133 万円の資産があり、その資産形成のために、これから負担するお金が 46 万円で、今まで負担してきたお金が 87 万円であることを意味します。

※24 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口：240,381 人を使用して算出しています。

八戸市職員の給与・定員管理の状況

問人事課 TEL内線 136、116 FAX 45・2077

市トップ→八戸市について→ 職員採用・人事→給与・定員管理

市では、24年度における職員の任免、職員数、給与、勤務時間その他の勤務条件、服務などの情報を「八戸市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例」に基づき公表します。

先月号に引き続き、今号では、職員の給与および職員数（定員管理）の状況についてお知らせします。

■給与などの状況

①人件費（23年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (24年3月31日)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B)/(A)	22年度の人件費率 (参考)
239,630 人	104,558,384 千円	2,734,057 千円	10,721,364 千円	10.3%	11.7%

※ 人件費には、特別職の給料、報酬などや退職手当、共済費（保険料）を含みます。

②職員給与費（23年度普通会計決算）

職員数 (A)	給与費				1人あたり 給与費 (B)/(A)
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
1,184 人	4,351,267 千円	756,383 千円	1,537,804 千円	6,645,454 千円	5,612 千円

※ 職員手当には、退職手当は含みません。

③職員の平均給料月額・平均給与月額・平均年齢（24年4月1日現在）

区 分	一 般 行 政 職			技 能 労 務 職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
八戸市	305,300 円	360,702 円	39.6 歳	360,200 円	388,858 円	53.3 歳
国	304,944 円	372,900 円	42.8 歳	270,465 円	307,506 円	49.7 歳
青森県	339,300 円	410,456 円	43.6 歳	308,500 円	345,957 円	47.4 歳

④職員の初任給（24年4月1日現在）

区分		八戸市		国	
		初任給	採用2年経過 給料額	初任給	採用2年経過 給料額
一般行政職	大学卒	172,200 円	184,200 円	172,200 円	184,200 円
	高校卒	140,100 円	148,500 円	140,100 円	148,500 円
技能労務職	高校卒	137,200 円	145,500 円	—	—

⑤ 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額 (24 年 4 月 1 日現在)

区 分		経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年
一般行政職	大学卒	265,143 円	307,141 円	370,984 円
	高校卒	212,677 円	263,825 円	313,071 円
技能労務職	高校卒	－	293,700 円	－

※ 技能労務職の経験年数 10 年および 20 年は、該当者がありません。

⑥ 一般行政職の級別職員数 (24 年 4 月 1 日現在)

区分	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	7 級	8 級	計
標準的な職務内容	主事		主査	主幹	副参事	課長	次長	部長	
職員数	160 人	135 人	260 人	146 人	136 人	69 人	27 人	18 人	951 人
構成比	16.8%	14.2%	27.3%	15.4%	14.3%	7.3%	2.8%	1.9%	100.0%
1 年前の構成比 (参考)	15.3%	14.9%	27.3%	16.9%	13.2%	7.6%	3.1%	1.7%	100.0%

※ 八戸市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

※ 職員数は、一般行政職のみの人数で、税務職相当職、福祉職相当職、医療職、技能労務職、教育職、企業職は含みません。

⑦ 職員手当 (23 年度支給割合など)

区 分		八 戸 市		国						
期末手当 勤勉手当	区分		支給割合		区 分	支給割合				
			期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当			
	6 月期		1.225 月分	0.675 月分	6 月期	1.225 月分	0.675 月分			
	12 月期		1.375 月分	0.675 月分	12 月期	1.375 月分	0.675 月分			
	計		2.600 月分	1.350 月分	計	2.600 月分	1.350 月分			
	職制上の段階・職務の級などによる加算措置あり				職制上の段階・職務の級などによる加算措置あり					
寒冷地 手当	区分		支給額		区分		支給額			
	世帯主	扶養親族あり		17,800 円 / 月		世帯主	扶養親族あり		17,800 円 / 月	
		扶養親族なし		10,200 円 / 月			扶養親族なし		10,200 円 / 月	
	その他の職員			7,360 円 / 月		その他の職員			7,360 円 / 月	
	※ 毎年 11 月から翌年 3 月までの支給です。				※ 青森県内は全市町村 4 級地の支給額です。					
退職手当	区分		支給割合		区分		支給割合			
			自己都合	定年			自己都合	定年		
	勤続 20 年		23.50 月分	30.55 月分	勤続 20 年		23.50 月分	30.55 月分		
	勤続 25 年		33.50 月分	41.34 月分	勤続 25 年		33.50 月分	41.34 月分		
	勤続 35 年		47.50 月分	59.28 月分	勤続 35 年		47.50 月分	59.28 月分		
	最高限度額		59.28 月分	59.28 月分	最高限度額		59.28 月分	59.28 月分		
	その他の加算措置		定年前早期退職特例措置 (2 ～ 20% 加算)		その他の加算措置		定年前早期退職特例措置 (2 ～ 20% 加算)			
	1 人あたり 平均支給額		22,714 千円				—			

※ 退職手当の支給率は 24 年 4 月 1 日現在のものです。また、1 人あたりの平均支給額は 23 年度に退職した全職種の職員に支給された手当額の平均額です (病院・交通部除く)。

(7) 職員手当の続き)

特殊勤務手当	区 分		全会計 (市民病院・交通部除く)	参考 (普通会計)
	職員全体に占める手当支給職員の割合 (23 年度)		11.8%	11.3%
	支給職員 1 人あたり平均支給年額 (23 年度決算)		148,778 円	50,856 円
	手当の種類 (手当数) ※24 年 4 月 1 日現在		11 種類	9 種類
	代表的な 手当の種類	支給額の多い手当	能率手当	清掃業務手当
		多くの職員に支給されている手当	清掃業務手当 福祉業務手当 滞納整理等業務手当	清掃業務手当 福祉業務手当 滞納整理等業務手当

地域手当 (東京都特別区に 在勤する職員に 支給される手当)	支給率 (24 年度)	18%	時間外勤務手当 (市民病院・ 交通部除く)	年度	支給総額	職員 1 人 あたりの 支給年額
	支給職員数 (24 年度)	2 人				
	国の制度 (支給率) (24 年度)	18%		23	389,494 千円	289 千円
	支給職員 1 人あたりの平均 支給年額 (23 年度決算)	798,012 円		22	387,984 千円	284 千円

区 分	内 容				国の制度との異同
扶養手当	配偶者			13,000 円 / 月	同 じ
	配偶者以外	1 人目	配偶者がいる場合	6,500 円 / 月	
			配偶者がいない場合	11,000 円 / 月	
		2 人目以降		6,500 円 / 月	
		16 ～ 22 歳の子 1 人につき		5,000 円 / 月	
住居手当	借家・借間	家賃に応じて 100 円～ 27,000 円 / 月			同 じ
通勤手当	交通機関利用（バス・電車など）		運賃相当額（最高限度額 55,000 円 / 月）		同 じ
	交通用具利用（自家用車など）		距離に応じて 2,000 円～ 24,500 円 / 月		
単身赴任手当	職員の住居と配偶者との住居の交通距離に応じて 23,000 円～ 68,000 円 / 月				同 じ

(8) 特別職の報酬など (24 年 4 月 1 日現在)

区 分	給料 (報酬) 月額	期 末 手 当
市 長	1,021,000 円	(支給割合) 6 月期 1.45 月分 12 月期 1.50 月分 計 2.95 月分 役職における加算措置あり
副市長	823,000 円	
議 長	671,000 円	
副議長	612,000 円	
議 員	583,000 円	

※市長・副市長の給料月額は、人件費抑制 (特別職給料約 8 % ～ 10 % 減額) 後の給料月額です。

※ 期末手当の支給割合は、23 年度における割合です。

人件費の抑制状況

市では、給与改定のほかに、次のとおり 18 年 4 月から 22 年 3 月まで人件費の抑制を実施していましたが、26 年 3 月まで延長しています。

- ・ 特別職の給料を約 8 ～ 10 % 減額
- ・ 一般職の管理職手当を約 5 ～ 7 % 減額

■定員管理の状況

①定員適正化計画の数値目標および実績

21 年 11 月に策定した定員適正化計画では、22 年度の職員数を基準に、23 年度から 27 年度までの 5 年間で職員数を 91 人削減（22 年度比△ 6.6%）することとしています。

24 年度の職員数は、4 月 1 日現在、1,336 人で、前年度と比較して 11 人の減となりました。

今後とも住民サービスの低下を招かないことを基本としながら事務事業の見直しを進め、引き続き定員の適正化に努めます。

区分		計画 前年度	計画期間の状況						計画 最終年	増減 (B)-(A)
		H21	H22 (A)	H23	H24	H25	H26	H27 (B)		
計 画	計画職員数 (4月1日現在)	1,388 人	1,377 人	1,355 人	1,344 人	1,322 人	1,302 人	1,286 人	△ 91 人 (△ 6.6%)	
	対前年増減数	－	△ 11 人	△ 22 人	△ 11 人	△ 22 人	△ 20 人	△ 16 人	－	
実 績	現 員 (4月1日現在)	－	1,365 人	1,347 人	1,336 人	－	－	－	－	
	計画との差	－	△ 12 人	△ 8 人	△ 8 人	－	－	－	－	

※ 一般行政等の職員数（市民病院・交通部・後期高齢者医療広域連合派遣を除き、南郷診療所を含む）

②部門別職員数の状況と主な増減理由（各年 4 月 1 日現在）

区分		職員数		対前年 増減数	主な増減理由
		H23	H24		
一般行政 部 門	議 会	14 人	14 人	0 人	—
	総 務	289 人	290 人	1 人	震災復興事務体制の強化に伴う増
	税 務	92 人	92 人	0 人	—
	民 生	141 人	137 人	△ 4 人	福祉施設への派遣職員引揚げに伴う減
	衛 生	139 人	138 人	△ 1 人	保健衛生業務の本庁一元化に伴う減
	労 働	5 人	5 人	0 人	—
	農林水産	58 人	58 人	0 人	—
	商 工	43 人	41 人	△ 2 人	派遣研修の終了に伴う減
	土 木	193 人	193 人	0 人	—
	小 計	974 人	968 人	△ 6 人	
特別行政部門	教 育	211 人	207 人	△ 4 人	東地区給食センター調理業務の委託に伴う減
公営企業等 会 計 部 門	病 院	695 人	717 人	22 人	市民病院の診療体制の強化に伴う増
	水 道	0 人	0 人	0 人	—
	交 通	75 人	72 人	△ 3 人	経営合理化に伴う減
	下 水 道	70 人	68 人	△ 2 人	災害派遣職員の他部門移管に伴う減
	そ の 他	86 人	87 人	1 人	後期高齢者医療事務体制の強化に伴う増
	小 計	926 人	944 人	18 人	
合計		2,111 人	2,119 人	8 人	

※ 職員数は、一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する派遣職員などを含みます。

臨時または非常勤職員は含みません。また、表中「病院」区分の職員数は、市民病院と南郷診療所の合計人数です。



1 八戸ニュータウン線と高専線がつながります

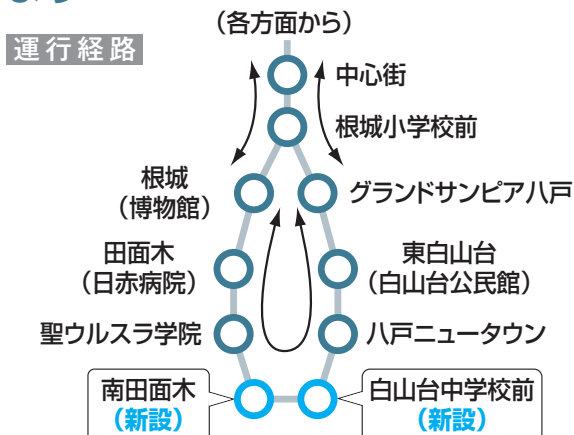
八戸ニュータウンや田面木～根城付近の沿線の施設を往来しやすくするため、八戸ニュータウンと聖ウルスラ学院を結ぶ循環線を運行します。この循環線化に伴い、中心街から八戸ニュータウン方面への最終便の時刻を繰り下げます。

例) 中心街(六日町)発(平日)

現行 20:50(東白山台経由)

改正後 21:40(田面木・聖ウルスラ学院経由循環)

また、聖ウルスラ学院と八戸ニュータウン間に「白山台中学校前」、「南田面木」停留所を新設します。

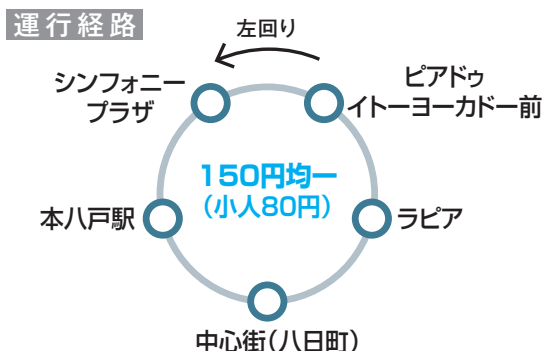


2 市内循環線(左回り)を実験的に運行します

これまで、市内循環線は右回りのみの運行でしたが、実験的に、左回りの運行をします(土曜・日祝日ダイヤ限定。一日16本運行)。

この左回りの運行により、中心街や郊外商業施設間の回遊性が高まり、さらに利便性が高まります。

※中心街、ラピア、シンフォニープラザなどでは、従来の右回りとは乗降停留所が異なりますのでご注意ください。



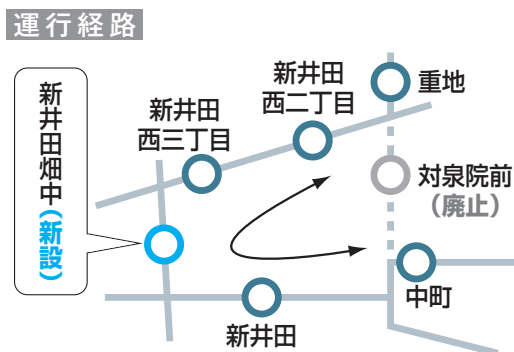
3 旭ヶ丘、高専線のセメント前～上柳町経由中心街方面行きの運行経路を見直します

新井田西地区から中心街方面へのアクセスを容易にするため、運行経路を見直します。

この見直しにより、「対泉院前」停留所を廃止します。代替停留所は「新井田西二丁目」停留所となります。

また、「新井田畑中」停留所を新設します。

運行経路：旭ヶ丘営業所～旭ヶ丘団地～中町～新井田～新井田西二丁目～重地～セメント前～上柳町～中心街(～聖ウルスラ学院)



4 南高校線、美保野線の運行本数を見直します

▷南高校線

八戸南高校が24年度末で閉校となりますが、鯨地区沿線住民の通学・通勤をはじめとした利用実態にあわせ、利便性を損なうことのないように、運行本数・経路を見直します。

▷美保野線

八戸学院大学(現八戸大学)、八戸学院短期大学の講義時間に合わせ、運行本数を増便します。

増便する主な運行時刻(平日): 本八戸駅(9:33)～中心街(八日町)(9:39)～旭ヶ丘営業所(9:55)～工業大学前(10:04)～八戸学院大学(10:12)

インターネット・携帯電話での時刻表検索

各バス停の時刻表の検索ができます。
ダイヤ改正案内開始 3月22日

携帯電話用アドレス・QRコード

<http://loca.city.hachinohe.aomori.jp/m/>

パソコン用アドレス

<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/bus/>



5 多賀台団地線 旭ヶ丘営業所～多賀台団地直通運行（八太郎経由）

旭ヶ丘営業所、市民病院方面からの多賀台団地方面への直通運行を行います。

この直通運行により、市民病院や沿線商業施設から、八太郎、多賀台団地方面への利便性が高まります。

また、多賀台団地、八太郎方面からの市民病院、旭ヶ丘営業所方面への運行本数を増便します。

運行経路：旭ヶ丘営業所～市民病院～中心街～本八戸駅～八太郎～三菱製紙前～多賀台団地

6 停留所の新設・廃止・名称変更

①新設

▷白山台中学校前

▷南田面木

▷新井田畑中

②廃止

▷対泉院前

③名称変更

▷旧南高校前（南高校前から変更）

▷八戸学院大学（八戸大学から変更）

7 「ポケットフレンド」の無料配布

4月1日改正版の手帳式市営バス時刻表を無料配布します。

配布開始日：3月22日

配布場所：各定期券販売所（旭ヶ丘営業所、はっち・チーノ・ラピア各インフォメーション、はちのへ総合観光プラザ）、各回数券販売所、市庁本館別館案内

8 時刻表 FAX サービス

各バス停やホームページに掲載している時刻表をFAXにより無料でお届けします。希望のバス停名称とその方面、FAX番号、電話番号をお知らせください。

配布開始日：3月22日

受付日時：月～金（祝を除く）午前8時15分～午後5時（FAXでの申し込みは24時間受け付け）

※時刻表はご希望により、旭ヶ丘営業所の定期券販売窓口でも配布します。

申問 旭ヶ丘営業所 ☎ 25・5141 FAX 25・5146

9 通学定期券の販売

市内の高校などで通学定期券の購入予約の受け付けと販売を行います。

通学1年定期は、58%も割引になる定期券で、現在行っている路線バス上限運賃化実証実験により、大変お得です。同様に1か月や3か月、6か月定期券も安くなっています（一部例外あり）。また、通学定期券は通学だけでなく塾へ通う場合も購入できます。詳しくは、運輸管理課へお問い合わせください。

【出張販売を行う学校】

八戸高校、八戸東高校、八戸北高校、八戸商業高校、
八戸工大第一高校、八戸工大第二高校

対象：新入生

定期券の種類：1か月、3か月、6か月、1年

※入学説明会当日に予約を受け、入学式当日に代金
と引き替えで定期券をお渡しします。

【学校事務局で販売を行う学校】

千葉学園高校、向陵高校、八戸聖ウルスラ学院高校・
中学校、専門学校アレック情報ビジネス学院

対象：新入生、在校生

定期券の種類：1年

※代金の支払い方法については、各学校事務局にお
問い合わせください。

路線バス上限運賃化実証実験実施中!

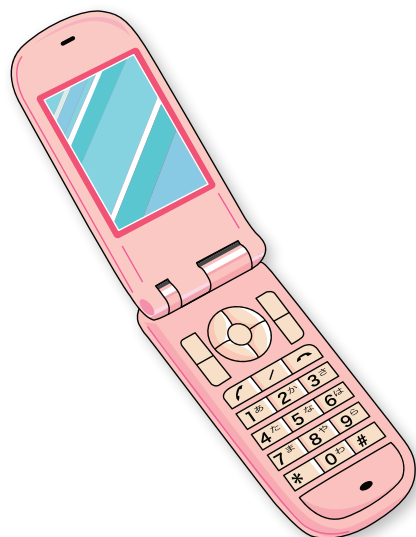
八戸市内のバス運賃が
1乗車あたり
上限300円
50円刻み
初乗り150円

8市町村をつなぐバス運賃が
1乗車あたり
上限500円
50円刻み
初乗り150円

八戸市中心部
一日フリー乗車券
まらバス300
八戸市中心部の指定区間を
一日何度でも乗り放題です。
初乗り150円
片道300円

八戸市内のほとんどのバス運賃が
一部路線を除き
初乗り150円
50円刻み

路線バス
企業乗車券
田子町・新郷村・八戸市
片道800円



英語・やさしい日本語の 外国人用「ほっとスルメール」 3月25日(月)スタート!

申問市民連携推進課 TEL 43・9257 FAX 47・1485

現在、「ほっとスルメール」では、緊急情報・気象情報・防犯情報などを配信していますが、このたび災害や避難情報などについて、外国籍住民の皆さん向けに、英語・やさしい日本語での情報配信を開始します。

※やさしい日本語とは普通の日本語よりも簡単で、外国人の皆さんにも分かりやすい日本語です。

メール配信開始	3月25日(月)
登録受付開始	2月22日(金)～
料金	登録料および情報利用料は無料です。ただし、通信料は利用者の負担となります。
配信される情報	①気象情報の一部の津波情報、避難情報（日本語とやさしい日本語と英語で配信） ②緊急情報（避難勧告、避難所情報、地震情報、警報・注意報など。英語またはやさしい日本語で配信） ③ライフライン情報 （電気・ガス・水道に関する情報。英語またはやさしい日本語で配信） ④火災情報（日本語で希望者のみに配信）
登録できる人	希望者はどなたでも登録できます。

申問市民連携推進課 国際交流グループ

TEL 43・9257 FAX 47・1485 E renkei@city.hachinohe.aomori.jp

Hachinohe city will provide disaster prevention information email in English and Easy Japanese starting March 25th !

Hachinohe city will start providing disaster prevention information via email to PCs and mobile-phones in English and Easy Japanese for foreign residents.

※Easy Japanese (Yasashii Nihongo, やさしい日本語) :Simplified Japanese easier for foreigners to understand than Regular Japanese.

Start of email services	March 25th (Mon)
Start of registration	February 22th (Fri) ~
Price	There is no cost for registration or monthly usage fees. However, the user must pay for the communication fees when receiving an email.
Information you will receive	Disaster prevention and emergency information regarding tsunamis, evacuations, earthquakes, warnings and advisories.
Who can register	Anyone who applies.

[Inquires and applications] ☎ 031-8686 Hachinohe Uchimaru 1-1-1
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

消費生活センター だより 2013

商工政策課

TEL 43・9524 FAX 43・2256

市では 23 年度から、市内の福祉施設職員やボランティア団体を対象に、悪質商法や多重債務といった消費者トラブルを未然に防ぐために地域で啓発活動を行う「啓発員」を養成する講座を行っています。

今回の消費生活センターだよりでは、養成講座を修了した啓発員の地域での活動のようすを紹介します。

ケアプラザ 福寿草

在宅介護支援センター担当地区（大館、東）の町内回覧用の新聞を作成し、その中で悪質商法対策の記事を掲載し注意喚起しました。



作成した新聞

特別養護老人ホーム サンシャイン



「訪問販売」寸劇のようす

施設の行事である「第 10 回サンシャイン夏祭り」で、職員による「訪問販売」をテーマにした寸劇を行い、困ったときは消費生活センターに相談するよう、来場者に呼びかけました。

実施日 24 年 7 月 21 日
実施場所 特別養護老人ホームサンシャイン（東白山台二丁目）

ケアプラザ さざなみ



「オレオレ詐欺」寸劇のようす

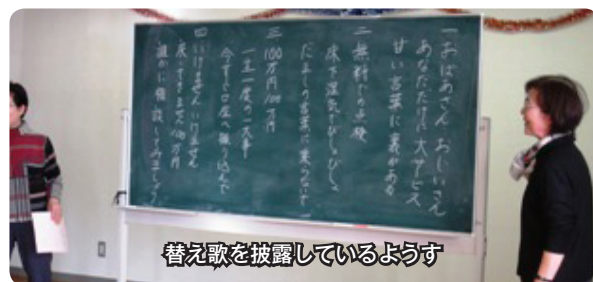
施設の行事である「第 2 回さざなみ地域交流祭」で「オレオレ詐欺」や「訪問販売」をテーマにした寸劇を行いました。また、高齢者が被害に遭わないよう地域で見守りをしていくよう来場者へ呼びかけました。

実施日 24 年 6 月 24 日
実施場所 ケアプラザさざなみ（小中野八丁目）

八戸婦人ボランティア いちいの会

地域の介護予防教室の参加者に対し、「訪問販売」をテーマにした寸劇のほか、断り方の「替え歌」を披露しました。

実施日 24 年 11 月 27 日
実施場所 諏訪荘（諏訪一丁目）



替え歌を披露しているようす

ご相談ください！

～悪質商法、多重債務、その他消費者トラブル～

開設日 月～金（祝・年末年始除く）
受付時間 午前 8 時 15 分～午後 5 時
相談方法 消費生活センター（市庁別館 5 階商工政策課内）へ
お越しいただくか、TEL 43・9216 へ
※E メールや FAX での相談は受け付けていません。



まずはお気軽にご相談ください

3月のおしらせ

市庁代表

TEL 43・2111

FAX 45・2077

http://www.city.hachinohe.aomori.jp

おしらせの見方

☎ 申し込み

☎ 問い合わせ

☎ 申し込み・問い合わせ

🌐 ホームページ

E メールアドレス

注意事項

○料金の記載のないものは、すべて無料です。

○「☎内線」とある場合は、まず市庁の代表番号（☎43・2111）におかけのうえ、内線番号をお伝えください。

○市庁の開庁時間

▷平日：午前8時15分～午後5時
※市民課の一部窓口は午後6時まで
※収納課窓口（収納業務、納税相談）も午後6時まで（☎・☎のみ）
▷休日：☎の午前8時15分～正午
市民課の一部窓口

○市庁への郵便は、郵便番号（〒031・8686）と課名のみで届きます。



講座・教室

みんなで学ぼう災害に強いまちづくり
—東日本大震災から2年—

日時 3月9日☎午前9時～午後4時30分、10日☎午前9時～午後3時

場所 はっち1階はっちひろば・ギャラリール・番町スクエア

内容 触って！見て！学ぼう！体験学習および技術・研究パネル展示
市民向け防災教育イベント実行委員会（八戸工業大学 金子）

☎ 25・8066 FAX 25・5018
E kaneko@hi-tech.ac.jp

家庭菜園講習会

「春・夏の野菜づくり」

日時 3月3日☎午前10時～正午

場所 農業経営振興センター

内容 種苗の選び方、種まき、植

避難所マニュアル活用学習会

男女共同参画の視点を盛り込んだ防災・減災・復興と地域コミュニティの再生のための学習会を開催します。
日時 3月3日☎

午前10時～午後1時

場所 白銀公民館2階ホール

定員 100人

内容 男女共同参画の視点からみる避難所マニュアル（DVD）の視聴、講演会、ワークショップ、非常食の試食など
講演会講師 相川康子氏（NPO政策研究所専務理事・主任研究員）

ワークショップコーディネーター

付け、栽培管理、施肥のポイントなど（家庭菜園初心者向け）
定員 80人
☎ 3月1日☎までに農業経営振興センターへ
☎ 27・9163 FAX 27・9166
E nokei@city.hachinohe.aomori.jp

小山内世喜子氏（青森県男女共同参画センター副館長）
申込期限 3月2日☎
※託児あり（1歳6か月～就学前）
☎ 学習会について
白銀公民館☎ 33・1633
▽学習会・託児について
青森県男女共同参画センター
☎ 017・732・1085
FAX 017・732・1073



催し

ひとり親家庭の小学校入学を祝う会

日時 3月10日☎

午前11時～午後2時

場所 総合福祉会館「はちふくプラザねじよう」

内容 母子福祉制度についての講話、会食、ゲーム（記念品あり）

職業訓練センター 受講者募集

☎ 申込期間の平日午前9時～午後5時に受講料を添えて、八戸地域職業訓練センター（類家二丁目7-40）へ（先着順・定員になり次第締切）※電話申込の場合、3日以内に受講料の支払いがない場合はキャンセル扱い。 ☎ FAX 46・3360 🌐 http://www.hads.ac.jp

	ワード初級コース	ワード初級コース	エクセル初級コース	建築 CAD 基礎コース
期 間	4月1日☎～26日☎ 毎週☎～☎の20日間	4月1日☎～5月31日☎ ☎除く毎週☎水☎の24日間	4月1日☎～26日☎ 毎週☎～☎の20日間	4月2日☎～5月2日☎ 毎週☎☎の10日間
時 間	13:30～16:30	18:30～21:00	9:00～12:00	18:00～21:00
定 員	20人	20人	20人	16人（入力・マウス操作ができる人）
受講料	12,000円 （別にテキスト代3,350円）	12,000円 （別にテキスト代3,350円）	12,000円 （別にテキスト代3,350円）	6,000円 （別にテキスト代3,360円）
窓口申込	3月19日☎～27日☎	3月19日☎～27日☎	3月19日☎～27日☎	3月12日☎～21日☎
電話申込	3月19日☎～25日☎	3月19日☎～25日☎	3月19日☎～25日☎	3月12日☎～18日☎

夜間納税相談

日時 3月7日(木)、26日(火)午後5時～7時30分

※ 毎週(月)と(金)は午後6時まで(祝を除く)

場所 収納課

☎ 43・9173、43・9174、43・9175 FAX 47・0753

休日納税相談

日時 3月24日(日)

午前9時～午後4時

場所 収納課

対象 ひとり親家庭で、今年4月に

小学校へ入学する児童とその親

日時 3月4日(日)までに八戸市母子寡

婦福祉会へ

TEL FAX 27・3876 (前田)

TEL FAX 44・6324 (中村)

☎ 43・9342 FAX 43・2442

場所 公会堂

第52回八戸ファンタジイ

八戸市文化協会芸能部所属の41

団体が練習の成果を発表します。

日時 3月2日(土)午後1時30分

3月3日(日)午前9時30分

場所 公会堂

入場料 (2日間利用可能)

前売1000円・当日1500円

☎ 44・7171 FAX 44・7176

場所 八戸市文化協会 TEL FAX 43・1149

スウィングベリー・ジャズ・オーケストラ コンサート

南郷文化ホールを拠点に活動し

ているスウィングベリー・ジャズ・

オーケストラの心地よいジャズの

サウンドをお楽しみください。

日時 3月24日(日)午後1時30分

場所 南郷文化ホール

入場料 (全席自由)

▽一般 1000円

▽高校生以下 無料 (要整理券)

☎ 60・8080 FAX 60・8081

場所 南郷文化ホール

Let's eat 八戸いちごフォーラム

日時 3月16日(土)午前11時～正午

場所 はっち1階はっちひろば

対象 八戸いちごに関心のある人

定員 40人 (先着順)

【パネルトーク「八戸いちごのおいし

さの秘密とその生産について探る」

コーディネーター 三浦由起子氏

(BeFM パーソナリティ)

パネリスト 下田尚子氏 (ナギサカフェ

主宰)、石田和幸氏 (いちご生産者)

【八戸いちごのふわふわムースを

食べよう】

八戸いちごを使用したふわふわ

ムースの試食とレシピ紹介

プレゼンター 下田尚子氏、三浦

由起子氏

※市川地区で生産された「八戸

いちご」の直売を会場です。

時間 3月15日(金)までに農業経営振

興センターへ

TEL 27・9163 FAX 27・9166

場所 三日月中央ビル1階

日時 3月20日(水)

午後2時～3時15分

会場 はっち1階はっちひろば

テーマ (仮) 三陸復興国立公園

指定を活かす

内容 今年5月、種差海岸が「三

陸復興国立公園」に指定されるの

を受け、観光・食・文化などへの

活用法やPR方法、八戸市のまち

づくりを期待することなどにつ

いて、意見交換をします。

パネリスト (五十音順) 木村

真衣子氏 (武輪水産㈱)、高橋

瑛子氏 (環境省八戸自然保護官

事務所)、竹内喜美氏 (株) JTB

東北八戸支店、八戸市長

定員 50人 (申し込み不要)

☎ 43・9217 FAX 47・1485

場所 市民連携推進課

アートプロジェクト

「うみのはなし」展示

美術家安岐理加さんが、八戸の

海と街との関係を映像や造形作品

にしたアート展を中心街の空き店

舗で開催します。

期間 3月9日(土)～17日(日)

場所 三日町 AXIISビル1階

ギャラリーほか

【トークショー】

日時 3月8日(金)午後6時30分

場所 三日町中央ビル1階

時間 3月18日(日)～28日(木)

場所 市庁本館1階市民ホール

☎ 43・9052 FAX 46・5697

市民の森不習岳写真展

豊かな自然にあふれる市民の森の風

景、イベントなどの写真を展示します。

期間 3月18日(日)～28日(木)

場所 市庁本館1階市民ホール

☎ 43・9052 FAX 46・5697

市民の森不習岳写真展

豊かな自然にあふれる市民の森の風

景、イベントなどの写真を展示します。

期間 3月18日(日)～28日(木)

場所 市庁本館1階市民ホール

元氣応援！お得意ぽん

協働事業者の募集

市と協働事業者となり、施設の

優待クーポンを提供してくれる事

業者を募集しています。

事業内容 市民の健康維持活動の促

進を図り、心身の健康維持活動との

出会いを提供するきっかけを作

る目的で、スポーツクラブなどの

心身の健康を応援する施設の優

待クーポンを提供するものです。

詳しくはお問い合わせください。

募集期限 3月4日(日)

☎ 43・9376 FAX 44・9106

申請 国保年金課

TEL 43・9376 FAX 44・9106

E kokuh@city.hachinohe.aomori.jp

広告

「広報はちのへ」への掲載広告を募集しています



この枠は2号広告サイズです
掲載料：80,000円

お問い合わせ
広報統計課
TEL 43-9317
FAX 47-1485



農作業体験学習会参加者募集

【期間】3月4日(月)～25日(月) (土日祝除く)に農業経営振興センターへ ☎ 27・9163 FAX 27・9166

畑での野外活動を中心に、じゃがいも、にんじんなどの野菜の種まき・植付け、栽培管理、収穫、調理実習などを体験します。

【期間】4月21日(日)から8月上旬まで

【対象】子供会など小学生を含む団体
※保護者の参加が必要です。
【定員】30人程度(申し込み多数の場合は抽選)
【場所】農業経営振興センター

老人クラブへ加入しませんか

現在、市内約2000の老人クラブで約7500人が活動しています。仲間づくりや生きがいづくりをしてみませんか。なお、老人クラブを新たに結成するには、60歳以上の会員が30人以上必要です。

【主な活動】▽各種スポーツ大会などの健康づくり活動▽環境美化、友愛訪問などの社会奉仕活動▽健康教室や交通安全教室などの教養講座▽芸能大会、作品展、コーラス、菊づくり、旅行などの趣味、レクリエーション
【八戸市老人クラブ連合会(総合福祉会館「はちふくプラザねじよう」内)】 ☎ 46・0777 FAX 43・9104 FAX 43・2442

テクノフロンティア八戸(賃貸型事業施設)入居企業募集

テクノフロンティア八戸は、八戸北インター工業団地内にある賃貸型事業施設で、新製品の試作・組立・小規模生産向けの工場タイプおよび試作開発タイプの計6棟7区画で構成されています。

【募集区画】2区画

【募集業種】製造業、サービス業など
【賃料】月額28万1820円(税込)
33万9570円(税込)

【助成制度】一定の要件を満たす場合、市の賃料補助制度(4分の1(8分の1)が受けられます)。

市民農園をご利用ください

【申込期間】3月18日(月)～25日(月)

【対象】八戸市民で1世帯1区画[抽選]

	八戸市市民農園	島守館農園(南郷区)
場所	尻内町字毛合清水 29	南郷区大字島守字館 22-1
募集区画数	250区画(1区画33㎡) 10区画(1区画99㎡)	8区画(1区画25㎡)
利用期間	4月下旬から11月中旬	4月下旬から11月中旬 (継続利用の場合は最終年の11月中旬まで)
使用料金	1区画33㎡:2,500円/区画 1区画99㎡:7,500円/区画	2,000円/区画
利用申し込み	受付時間	☎～☎:午前8時30分～午後5時 ☎～☎:午前9時～午後4時
	受付場所	▷農業経営振興センター ▷農政課、農林畜産課 市庁別館5階(☎～☎のみ) ▷南郷朝もやの館総合情報館(☎を除く) ▷農政課、農林畜産課、南郷区役所地域振興課(☎～☎のみ)
その他	▷職員やボランティアによる休日の巡回指導(年8回) ▷栽培方法などの相談受付	最長5年間継続して同一区画を利用可
問い合わせ	農業経営振興センター(尻内町字毛合清水 29) ☎ 27・9163 FAX 27・9166	南郷朝もやの館総合情報館(☎を除く) (南郷区大字島守字古坊 61-1) ☎ 80・8088 FAX 80・8017

※直接、申込受付窓口でお申し込みください。電話・FAX・Eメールでの受け付けは行なっていません。

産業振興課

☎ 43・9048 FAX 43・2256
(独)中小企業基盤整備機構
東北本部
☎ 022・399・9058
FAX 022・716・1752

☎ http://www.smrj.go.jp/site/instit/project/tohoku/004353.html

第25回八戸市景観賞ポスターデザイン募集

応募資格

▽市内に在住している人
▽市内に通勤・通学している人
▽八戸市にゆかり、愛着のある人
【作品条件】次のすべての事項を含む

めること

▽タイトル「第25回八戸市景観賞」
▽応募締切「7月31日水曜日」
▽問い合わせ先「八戸市景観賞事務局(八戸市まちづくり文化推進室内) ☎ 43・9425」
※内容が変わらない限り自由に変更しても構いません。

(例)「第25回八戸市景観賞」↓

【5月10日(金)まで(当日消印有効)】
に、応募用紙か任意の用紙に氏名(ふりがな)、会社・学校名、コメント(デザインコンセプトなど)を記入し、作品を郵送かまちづくり文化推進室へ持参

※デジタルデータがある場合は併せて提出してください。

【まちづくり文化推進室】
☎ 43・9425 FAX 41・2302
【トップ↓まちづくり↓八戸の景観↓八戸市景観賞】
☎ machi@city.hachinohe.aomori.jp

消費生活相談員募集

【定員】1人(非常勤特別職)
【業務内容】消費生活に関する相談や苦情処理など
【勤務場所】消費生活センター(市庁別館5階)
【採用予定日】4月1日(月)
【応募条件】①消費生活専門相談員、



気象・火災・防犯・交通安全・消費生活・感染症・ライフラインなどの、地域の安全・安心情報を、携帯電話などに電子メールでお知らせします。QRコードを読み取り、何も入力しないメール（空メール）をお送りいただくか、下記URLよりご登録ください。

携帯電話用 URL <https://anshin.city.hachinohe.aomori.jp/mobile>

※迷惑メール設定をしている人は、ドメイン「anshin.city.hachinohe.aomori.jp」のメールが受信できるよう設定してください。

消費生活アドバイザー、消費生活コンサルタントいずれかの資格を有する人、もしくは消費生活相談に関し、知識と熱意のある人②パソコン操作のできる人

応募方法 3月8日（金）まで（必着）に、次の書類を提出

▽履歴書 市販の用紙で写真を貼付したもの

▽小論文 テーマは「私が消費生活相談員を目指す理由」。市販の400字詰め原稿用紙3枚以内

▽資格証の写し（応募条件①の資格を持つている人のみ）

選考方法

▽第1次選考 履歴書・小論文

▽第2次選考 面接（第1次選考合格者のみ3月中旬の予定）

申請 商工政策課

TEL 43・9524 FAX 43・2256

各種協議会等の委員募集

対象 市内在住で、市が主催する審議会などの委員を3つ以上兼務していない人

報酬 1回の出席につき8800円（税込）

決定方法 書類選考（必要に応じ面接あり）

申込書 担当課のほか、市庁本館・別館案内、南郷区役所、各公民館・市民サービスセンターで配布。市ホームページからダウンロード可

【八戸市青少年問題協議会】

定員 2人以内

対象 青少年の指導、育成、保護

および矯正に関し、知識、経験、関心のある人

任期 2年（5月～27年5月）

※会議は年2回程度開催

申請 3月15日（金）～4月5日（金）に、申込書に必要事項を記入し、郵送、Eメールまたは直接教育指導課へ

TEL 内線 457 FAX 47・4997

【八戸市景観審議会】

定員 2人以内

任期 2年間（6月～27年5月）

※会議は年4回程度開催

申請 4月15日（日）までに、申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、Eメールまたは直接まちづくり文化推進室へ

TEL 43・9425 FAX 41・2302

【中心市街地にぎわい形成事業】

検討委員会

定員 1人以内

任期 2年間（5月～27年4月）

※会議は年5回程度開催

申請 4月15日（日）までに、申込書に必要事項を記入し、郵送、FAX、Eメールまたは直接まちづくり文化推進室へ

TEL 43・9425 FAX 41・2302

【八戸市地域保健医療対策協議会】

定員 2人以内

任期 2年（6月～27年3月）

※会議は年2回程度開催

申請 3月19日（火）までに、申込書に

必要事項を記入し、「八戸市の保健や医療」に対する意見・提案などを500字以内の文章にまとめ、郵送・FAX・Eメールまたは直接健康増進課へ

TEL 内線 290 FAX 47・0745

E kenko@city.hachinohe.aomori.jp

交通安全共済窓口受付時間延長

市民の皆さんの利便性向上のため、窓口受付時間を延長します。

受付時間 午前8時15分～午後6時

実施期間 3月1日（金）～29日（金）（土日祝を除く）

実施場所 防犯交通安全課

【交通安全共済に加入するには】

会費 1人年額350円（1人1口限り）

共済期間 4月1日（日）（または加入した日）～26年3月31日（日）

申込書 防犯交通安全課、南郷区役所市民生活課、各市民サービスセンターで配布

申請 申込書に必要事項を記入のうえ、会費を添えて窓口へ

固防交通安全課

TEL 43・9218 FAX 45・0099

**八戸市身体障害者更生館を
ご利用ください**

障がいのある人や家族などからの相談を聞き、各種情報提供など

広告

選挙管理委員会の委員決定

委員長 野坂哲氏

同職務代理者 福島正敏氏

委員 三浦辰男氏・赤澤榮治氏

就任月日 24年12月22日（委員長・同職務代理者は12月25日）

固選挙管理委員会事務局

TEL 43・9167 FAX 45・3339

人権擁護委員の委嘱

25年1月1日付けで法務大臣から委嘱された人権擁護委員は次のとおりです。

▽藤田眞佐子氏（再任）

▽本堂勝子氏（再任）

▽藤田久美氏（再任）

固市民相談室 TEL 内線 149

を総合的にを行い、地域での生活を支援しています。また、社会生活を高める支援として、研修会・交流会なども開催しています。詳しくはお問い合わせください。

開館時間 午前9時～午後6時

固更生館

TEL 44・9100 FAX 44・9382

未熟児養育医療費と育成医療費の申請窓口が八戸市に変わります

これまで八戸保健所が申請窓口となっていた未熟児養育医療費と育成医療費について4月1日から市の担当課が申請窓口になります。

	未熟児養育医療費	育成医療費
対象	八戸市内に住所がある人	
変更に伴う手続きなど	不要（4月1日からの養育医療券を4月初旬に郵送します）	不要（4月1日からの受給者証を4月初旬に郵送します）
申請窓口（担当課）	こども家庭課 ☎ 43・9428 FAX 43・2442	障がい福祉課 ☎ 43・9106 FAX 22・4810

ブロック塀などの安全を確かめましょう

過去の地震では、ブロック塀や石造塀などの倒壊で、多くの人が亡くなりました。また、倒れた塀が道路をふさぎ、避難や救助・消火活動を妨げる結果にもなりました。一見安全そうでも、基準に満たない危険なブロック塀などもありますので、点検を行い、安心して暮らせるまちを作りましょう。

※特に、通学路に接しているブロック塀などは、保守・点検を行い、責任を持つて管理しましょう。

建築指導課

☎ 43・9137 FAX 41・2302

山火事を防止しましょう

春先は農作業や山菜採りなど、山林周辺で火を扱う機会が多くなる時期です。次のことに気をつけ、森林を守りましょう。

▽枯れ草の近くなど、火災が起こりやすい場所でたき火をしない。

▽たき火や野焼きをするときは周囲にも知らせ、一人で行わない。

▽強風時や空気が乾燥している時は、たき火や野焼きをしない。

▽たばこの火は確実に消す。

農林畜産課

☎ 43・9052 FAX 46・5697



認可外保育施設の保育料を一部助成します

認可外保育施設に入所している第3子以降の児童の保護者に対して、保育料の一部を助成します。

対象 保育料助成対象施設として県の認定を受けている認可外保育施設に第3子以降の児童を入所させている保護者

助成額 こどもの年齢や保護者世帯の税額により決定

助成時期 申請した月の保育料から

申請 こども家庭課

☎ 43・9094 FAX 43・2442

豊崎児童館移転および臨時休館

豊崎児童館は、24年度末で廃園となる市立豊崎幼稚園（豊崎小学校隣）の場所へ、25年度から移転します。

なお、移転に伴う作業のため、次の期間臨時休館します。

休館期間 3月23日（土）～30日（土）

こども家庭課

☎ 43・9342 FAX 43・2442

高齢者肺炎球菌ワクチン接種 受託医療機関の追加

▽国民健康保険おいらせ病院（上北郡おいらせ町上明堂）

健康増進課

☎ 52・3111

国民年金加入の皆さんへ

より多くの年金を受けたい人に

付加年金と国民年金基金

老齢基礎年金に上乗せして、より多くの年金を受け取ることができる制度に、付加年金と国民年金基金があります。

	付加年金	国民年金基金
加入できる人	▽国民年金第1号被保険者（国民年金の保険料を納めている人） ▽65歳までの任意加入被保険者	国民年金第1号被保険者（20歳以上60歳未満・国民年金の保険料を納めている人）
保険料・掛金	月額 400 円	加入時の年齢、選択する年金のタイプ・口数によって決まります。
受け取る年金額	納めた月数×200円を毎年受け取ることができます。	年金のタイプや加入口数を選択して年金額を自由に設計できます。
手続き・問い合わせ	▽八戸年金事務所 ▽国保年金課 7 番窓口	青森県国民年金基金 ☎ 0120・65・4192

※付加年金と国民年金基金は、同時に加入することはできません。

☎ 八戸年金事務所 ☎ 43・7369 FAX 45・9329
国保年金課 ☎ 43・9079 FAX 44・9106

ヒフワクチン追加接種の接種間隔の変更

市で接種費用を全額助成しているヒフワクチンの追加接種の接種間隔が、「初回接種終了から概ね1年後」から「初回接種終了後7～13か月の間」に変更になりました。

特例措置として、3月31日（土）までは、初回接種終了後13か月を超えても無料で追加接種が受けられます。13か月を超える人は、期間内に接種しましょう。

なお、接種費用助成制度は3月31日で終了です。4月以降の制度は未定ですが、新たな制度が始まった場合、追加接種は初回接種終了後13か月を超えると有料になります。

健康増進課

☎ 内線 550 FAX 47・0745

生活にお困りの人はご相談を

病気やけがなどで生活費・医療費などに困った場合、社会保障制度による救済措置のひとつに「生活保護」制度があります。

生活保護は、最低限度の生活を保障しながら、一日も早く自立できるように、国の定める保護基準に従い支援する制度です。

日常の生活の中で経済的に困りの人は、一人で悩まずに、お近くの民生委員または生活福祉課にご相談ください。

☎ 生活福祉課

☎ 内線 269 FAX 43・2285

高額医療・高額介護合算療養費の支給申請を受け付けます

高額医療・高額介護合算療養費

☎ 内線 550 FAX 47・0745

健康増進課

☎ 内線 550 FAX 47・0745

健康増進課

☎ 内線 550 FAX 47・0745

☎ 内線 550 FAX 47・0745

☎ 内線 550 FAX 47・0745

介護保険料・後期高齢者医療保険料（第9期）

3月は介護保険料・後期高齢者医療保険料第9期の納期です。
納付通知書が届いた人は、忘れずに納期限（4月1日㊦）までに納めましょう。

☎ 介護保険料について…介護保険課 ㉔ 43・9285 FAX 47・0732

後期高齢者医療保険料について…国保年金課 ㉔ 43・9065 FAX 44・9106

保険料の納付には
便利で安全
納め忘れのない
口座振替が
おすすめです。

申請に必要なもの 対象者の医療保険と介護保険の保険証、はんこ（認印）、振込先となる預貯金通帳（対象者全員分）
支給額 8月～翌年7月にかかった保険適用分の医療費・介護保険サービス費の自己負担額（高額療養費および高額介護サービス費

	24年7月31日時点で加入している医療保険	
	国民健康保険	後期高齢者医療制度
合算対象者	同じ世帯の国保加入者	同じ世帯の後期高齢者医療制度加入者
申請受付窓口	国保年金課 ⑨番窓口	国保年金課 ⑪番窓口

とは、医療費と介護保険サービス費のどちらも負担があり、1年間の合計が高額になる世帯に対し、所得などに応じた限度額を超えた分を支給します。
支給申請 支給を受けるには申請が必要です。23年度分（23年8月～24年7月）の支給の要件に該当すると思われる世帯には、2月下旬に支給申請のお知らせをお送りします。お知らせが届いた人は次のとおり申請してください。
ただし、国民健康保険・後期高齢者医療制度以外の医療保険加入者には、お知らせが送られませんので、各医療保険者へお問い合わせください。

対象 次のいずれかに該当する生徒
▽父か母または両親とも、亡くなっている▽父か母または両親とも、生死が引き続き3か月以上不明▽父か母または両親から、1年以上遺棄されている▽父か母または両親とも、1年以上拘禁されている▽父か母または両親とも、心を

TEL 内線 572 FAX 47・0732
介護保険課

▽国保加入者
TEL 内線 296 FAX 44・9106
▽後期高齢者医療制度加入者
TEL 内線 282 FAX 44・9106
国保年金課

所得区分	後期高齢者医療制度加入世帯および70～74歳の国保加入世帯	70歳未満の国保加入世帯
現役並み所得者（上位所得者）	67万円	126万円
一般	56万円	67万円
低所得者（住民税非課税世帯）	II 31万円	34万円
	I 19万円	

※24年7月31日時点の所得区分の限度額を適用します。

※限度額を超えた分が500円以下の場合には支給対象となりません。

を受給してもなお残る自己負担額を合算し、次の表の所得などに応じた限度額を超えた分が支給対象額となります。

※振替納税の申し込みは、「預貯金口座振替依頼書」（税務署、金融機関で配布）をお願いします。
☎ 八戸税務署 ㉔ 43・0141
（音声案内2番を選択）

税の種類	納期限	振替日（振替納税の場合）
申告所得税	3/15 ㊦	4/22 ㊦
消費税および地方消費税（個人事業者）	4/1 ㊦	4/24 ㊦
贈与税	3/15 ㊦	

〈お願い〉
振替納税を利用している人は、事前に預貯金残高を確認してください。

24年分確定申告の納期限・振替日



税

身の障がいにより長期にわたって労働力を失っている
支給額 遺児1人につき1万円
持ち物 保護者のはんこ、保護者名義の預金通帳、対象となること
が確認できる書類（児童扶養手当証書、ひとり親家庭等医療費受給資格証、遺族年金証書、障害年金証書、身体障害者手帳など）
支給予定日 4月30日㊦
申請期間 3月1日㊦～31日㊦（土日祝を除く。23日㊦、24日㊦、30日㊦、31日㊦は受け付け）
申問 こども家庭課
TEL 43・9428 FAX 43・2442

小さな掛金・大きな補償！ スポーツ安全保険 （傷害保険＋賠償責任保険＋突然死葬祭費用） 万一のけがや事故に備えて、加入しませんか？

対象 スポーツ・文化・ボランティア活動などを行う5人以上の団体

保険期間 4月1日㊦午前0時～

26年3月31日㊦午後12時

※4月1日以降の申し込みは、加入手続きを行った翌日午前0時から有効

申込受付開始日 3月1日㊦～

補償内容

▷団体活動中の事故（学校管理下を除く）

▷団体活動への往復の移動中の事故

（自動車運転中の事故は、賠償責任保険の対象外）

※詳しくはスポーツ健康課および各体育施設に設置のパンフレットおよび申込書をご覧ください。

掛け金 1人年額800円～11,000円（団体活動内容、年齢構成、補償内容に応じて異なります）

㊦申込書に必要事項を記入し、指定金融機関へ

☎ スポーツ安全協会青森県支部

TEL 017・782・6984

FAX 017・766・7899

八戸市納税コールセンター開設中

八戸市納税コールセンターは、市税、国保税について、電話による納税案内や口座振替の加入依頼を行っています。平日の日中のほか、平日夜間、休日にも業務を行っています。

当センターでは、還付金などの案内やATMの操作をお願いすることはありませんので、不審な電話がありましたら、収納課へ確認してください。

固収納課 ☎ 43・9174 FAX 47・0753

市民税・県民税の申告は

3月15日(金)まで

期間 3月15日(金)まで(土・日・祝を除く)

時間 午前9時～午後3時30分

場所 公会堂文化ホール1階講義室

固住民税課

☎ 内線 179 FAX 45・6737

軽自動車の名義などの 変更手続きはお済みですか？

軽自動車やバイクなどに課税される軽自動車税の納税義務者は、4月1日現在の所有者です。これらを取得・譲渡・処分・紛失または盗難にあったとき、所有者が死亡・転出したときは、届け出が必要です。

軽自動車などの種類	届け出先
▷原動機付自転車(125cc以下) ▷小型特殊自動車	▷住民税課 ▷南郷区役所市民生活課 ▷各市民サービスセンター
軽二輪(125cc超～250cc以下)	軽自動車協会八戸支所 ☎ 51・2560 FAX 51・2561
軽自動車(三・四輪)	軽自動車検査協会八戸支所 ☎ 21・2135 FAX 21・2136
二輪の小型自動車(250cc超)	八戸自動車検査登録事務所 ☎ 050・5540・2009 FAX 20・4115

固住民税課

☎ 内線 182 FAX 45・6737

自動車の名義変更・廃車手続き および車検はお早めに

3月は、名義変更・廃車・住所変更などの窓口が混み合いますので、

できるだけ3月上旬までに手続きをお願いします。また、継続検査(車検)は1か月前から受けられますので、早めの受検をお願いします。

登録窓口受付時間 午前8時45分～正午、午後1時～4時(土・日・祝を除く)

手続き内容	問い合わせ先
車検証の ▷移転登録(名義変更) ▷抹消登録(廃車) ▷変更登録(住所変更) 継続検査(車検)	東北運輸局 青森運輸支局 八戸自動車検査登録事務所 ☎ 050・5540・2008 FAX 017・739・1505 ☎ http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/am/am-index.htm
ユーザー車検予約	自動車検査法人 ☎ パソコン http://www.navi.go.jp 携帯電話 http://www.navi.go.jp/m/ 自動車検査予約ヘルプデスク ☎ 0570・030・330
自動車税の住所変更	三八地域 県民局県税部納税管理課 ☎ 27・5111 内線 205～207 FAX 27・3817 ☎ http://www.pref.aomori.lg.jp/life/tax/top.html

愛車の住所変更も忘れずに

自動車税の納税通知書は4月1日に運輸支局に登録されている住所に送付します。すぐに変更登録の手続きができない場合は、最寄りの地域県民局県税部に連絡するか(ホームページでも受付可)、市民課窓口にある変更届をご利用ください。

固三八地域県民局県税部納税管理課

☎ 27・5111 内線 205
FAX 27・3817

健康はちのへ21

固健康増進課 ☎ 43・9184 FAX 47・0745

(健康)チャ(ン)ネ(ル)

歯周病予防で健口力アップ!!



むし歯や歯周病は、むし歯菌や歯周病菌で起こる「感染症」ですが、不健康な習慣が原因となって発症する「生活習慣病」とも言えます。また、単なる口の中の病気にとどまらず、全身の健康に影響を及ぼします。

歯周病は、はじめは自覚症状がなく、痛みや腫れの症状が出てくるのは進行してからです。

まずは、むし歯や歯周病をよせつけない生活習慣をこころがけ、健口力アップを目指しましょう。

めざそう!
80歳で20本!!



<8020(ハチマルニーマル)運動>

固い物をかめる人ほど、元気に暮らせることがわかっていきます。食事をおいしく味わい、栄養をきちんとからだに吸収するためには、「よくかむ」ことがとても大切です。かむことはからだところに多くの健康効果をもたらしてくれます。厚生労働省と日本歯科医師会は、むし歯や歯周病を予防して**80歳で自分の歯を20本以上残そう**という「8020(ハチマルニーマル)運動」を呼びかけています。

むし歯や歯周病をよせつけない生活習慣

- ①規則正しい生活でからだの免疫力を高めましょう
- ②間食は時間を決めて、糖分の多いものは控えましょう
- ③たばこは吸わない。受動喫煙にも注意をしましょう
- ④深酒は、つい歯みがきを忘れがちに。適度な飲酒を心がけましょう
- ⑤からだの病気はむし歯菌や歯周病菌に感染しやすくなります。病気がある人はきちんと治療をしましょう
- ⑥ストレスは万病の元です。ためこまない工夫をしましょう
- ⑦きちんと磨けているか、週に1回は口の中を観察してみよう
- ⑧1日1回は時間をかけた歯みがきをして歯垢をきれいに落としましょう
- ⑨フッ素入りの歯みがき剤を使い、歯質を強くしましょう
- ⑩歯みがきの指導を定期的に受けて、むし歯や歯周病を予防しましょう。また、歯周疾患検診を活用しましょう

※ 歯周疾患検診について詳しくはわが家の健康カレンダーをご覧ください。

毎月10日は「イカの日」～八戸のイカを食べよう!!～

例年、第三魚市場には三陸沖で捕れた「アカイカ」が水揚げされます。お刺身で食べることはなく、イカ天やさきいかなどの原料に利用されています。

3月10日の「イカの日」には、アカイカの加工品を食べてみなイカ?

国水産振興課 ☎ 33・2115 FAX 33・2117



3月と4月は、休日も各種届出を受け付けます

進学、就職、転勤などで住所異動の多い3月と4月の土曜日、日曜日に住所異動などに関連する各窓口を開設します。平日の届け出が困難な人はご利用ください。

■休日の窓口開設日および開設時間

3月23日☎、24日☎、30日☎、31日☎

午前8時15分～午後5時

市民課と国保年金課に限り、以下の日時も利用できます。

3月2日☎、9日☎、16日☎、4月6日☎、13日☎、

20日☎、27日☎ 午前8時15分～正午

■開設する窓口と取り扱い業務

市民課 (市庁本館 1階 ☎ 43・9192 FAX 46・1517)

▷住所変更に関する届出▷戸籍に関する届出▷印鑑登録▷住民票の写し、印鑑登録証明書、戸籍謄抄本の交付

国保年金課 (市庁本館 1階 ☎ 43・9487 FAX 44・9106)

▷国民健康保険および国民年金の資格取得喪失関係の届出▷国民年金保険料免除申請

学校教育課 (市庁本館 5階 ☎ 43・9457 FAX 45・2141)

▷就学(転校・新入学など)に関する業務

健康増進課 (市庁別館 2階 ☎ 43・9271 FAX 47・0745)

▷母子健康手帳の交付▷乳幼児ハンドブックの交付▷妊婦委託健康診査受診票の交付

こども家庭課 (市庁別館 2階 ☎ 43・9342 FAX 43・2442)

▷ひとり親家庭等医療費申請▷乳幼児等医療費申請▷児童手当・児童扶養手当の認定請求および諸届出▷保育所の入退所申請▷遺児弔意金申請▷遺児卒業祝金申請

※他市町村への確認が必要な業務では、後日再度お越しいただく場合もあります。

※窓口開設は、本庁のみです(南郷区役所、各市民サービスセンターでは、受け付けしません)。

※窓口で本人確認を行う業務もありますので、運転免許証などの本人確認書類をお持ちください。

3月中旬から市民課に窓口番号案内表示システムを導入します



市では、窓口改革の一環として、市民課窓口での受付から交付までを同一の番号で管理し、呼び出す人の番号をモニター表示するシステムを導入します。このシステムでは、各受付窓口の待ち人数も表示されるので、これまでより待ち時間が分かりやすくなります。

市民課では、このシステムのほかに窓口案内係の導入など、市民サービスの向上に努めています。

国市民課 ☎ 43・9192 FAX 46・1517

It's a SHOWTIME!

3月の公会堂・公会堂文化ホール・南郷文化ホールの催し

公会堂

☎ 44・7171 FAX 44・7176

日 曜	催 し 物	開演時間	入場料金(円)
2 ☎	第52回八戸ファンタジィ	13:30	1,000 (当日1,500)
3 ☎		9:30	
24 ☎	花とおどり	11:00	指定席 2,000 自由席 1,300

公会堂ホール休館のお知らせ

工事のため、公会堂ホールは、
3月4日☎から15日☎まで休館します。

南郷文化ホール

☎ 60・8080 FAX 60・8081

日 曜	催 し 物	開演時間	入場料金(円)
24 ☎	スウィングベリー・ジャズ・オーケストラ コンサート	13:30	一般 1,000 高以下無料
30 ☎	ピアノ・エレクトーン発表会	14:30	無 料

公会堂文化ホール

☎ 45・1511 FAX 44・7176

日 曜	催 し 物	開演時間	入場料金(円)
1 ☎	エレクトーン3大プレーヤー 夢の競演～スパークリング フューチャー	18:30	3,000 (当日3,500)
9 ☎	みんなで学ぼう災害に強いまちづくり～東日本大震災から2年～	13:30	無 料
10 ☎	スタッカートの会音楽会	13:00	無 料
17 ☎	八戸工業大学第二高等学校 吹奏楽部 第11回定期演奏会	14:00	無 料
26 ☎	民音落語会 三遊亭好楽・三遊亭王楽 親子会	① 14:00 ② 18:30	3,800
30 ☎	ミュージックランドピアノ発表会	9:45	無 料

※主催者の都合により変更になる場合があります。
会員制などの催しについては、掲載していません。

町内会活動に参加しよう！～住み良い地域づくりのために～

人と人とのつながりが、安全・安心で住みやすい地域づくりの第一歩です。日ごろからの地域でのつながりが、いざという時に大きな力を発揮します。

☎ 43・9182 FAX 47・1485

町内会の
主な活動

防災・防犯
活動

防犯灯の
維持・管理

子ども会
活動

環境美化
活動

ゴミ集積所の
維持・管理



宝くじの社会貢献広報事業 ～コミュニティ助成事業のご紹介～

☎ 43・9182 FAX 47・1485

(財)自治総合センターでは宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品や集会施設の整備など、町内会などの活動に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に貢献しています。24年度は8団体に助成しており、そのうち4団体の事業の概要を紹介します。

団体名	助成額	事業目的	事業内容
白銀振興会	170 万円	地域行事用音響設備の整備	音響装置本体、マイクセット、スピーカーセットなど
類家五丁目町内会	120 万円	住環境整備のための草刈機、除雪機の整備	芝刈機、草刈機、除雪機など
東糠塚町内会	250 万円	住環境整備のための除雪機、町内会活動用の映像機器や複合機の整備	除雪機、テレビ、DVD プレーヤー、モノクロ複合機など
長沢町内会	150 万円	住環境整備のための刈払機、除雪機などの整備	刈払機、除雪機など



白銀振興会



類家五丁目町内会



東糠塚町内会



長沢町内会

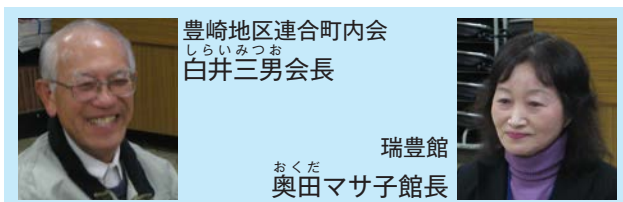
発信！地域自慢③ 豊崎地区連合町内会

地域をあげての駅伝大会開催

～たすきでつなぐ地域の絆～

☎ 43・9182 FAX 47・1485

昨年 11 月 4 日に開催された「第 2 回八戸市小学生駅伝豊崎大会」について、大会主催者の豊崎地域づくり実行委員会の役員である白井三男豊崎地区連合町内会長と奥田マサ子瑞豊館長にお話をうかがいました。



豊崎地区連合町内会
しらいみつお
白井三男会長



瑞豊館
おくだ
奥田マサ子館長

○大会開催のきっかけ

白井会長 豊崎地区は、少子高齢化が進んでいることから、地域を元気で活気のあるまちにするため、「豊崎地域づくり計画」を策定し、健康づくりや公園整備など、町内会を中心にまちづくりに力を入れてきました。このような活動を行う中で、豊崎の豊かな自然や農産物、人情などの良さを広く PR し、多くの皆さんに知っていただきたいと考え、子どもたちの駅伝大会を開催することとしました。

奥田館長 豊崎は平坦な場所が多いので駅伝のコースには都合が良かったこともありました。

○駅伝大会を開催して

白井会長 大会は、1 チーム 6 人の小学生が、地域内 10 キロのコースを走るもので、22 年に第 1 回、今回、第 2 回大会を開催しました。

奥田館長 町内会を中心に地域のさまざまな団体が協力し、大会を運営することで、地域内の連帯感が強くなりました。また、たすきをつなぐ駅伝を通じて、豊崎の子どもたちと他の地域の子どもたちが交流し、親睦を深めることができました。さらに、子どもたちの家族が応援に駆けつけてくださったので、多くの人に豊崎の良さを感じ取ってもらえたのではないのでしょうか。

○今後の目標について

奥田館長 今回は市内から 11 チームが参加しましたが、今後は市の内外を問わず、多数の小学校から参加を募って、続けていきたいと考えています。

白井会長 そして、大会を通じて生まれる多くの出会いや人と人との絆を大切にしていきたいと思っています。

今後も地域が結束して、豊崎を元気づけるまちづくりを進めていきたいと考えています。



駅伝大会のようす

3月の各種相談

※ 相談は無料です

場 所	相 談 名	日 時	内 容
市民相談室 (市庁本館 1階)	一般相談	8:15～17:00 土曜を除く毎日	日常生活の中での困りごとや心配ごとに関すること
	人権相談	6日・13日・27日の各水 9:00～12:00、13:00～16:00	夫婦・親子・相続など家庭での困りごと、暮らしの中の人権問題に関すること
	行政相談	7日・14日・21日・28日の各木 13:00～16:00	国・県など行政への困りごと、苦情、要望などに関すること
	税務相談	4日金 13:00～16:00 相談時間は15分程度	相続税・贈与税・譲渡所得税などに関すること
	法律相談	11日金 13:00～16:00 予約受付日7日木 8:30～電話で(先着10人) 裁判・調停など係争中の人は除きます。	相続、離婚、金銭貸借などの法律問題全般に関すること
	司法書士相談	18日金 13:00～16:00 相談時間は15分程度(先着10人)	相続登記、成年後見、簡易訴訟代理手続きなどに関すること
	行政書士相談	19日火 13:00～16:00 予約受付日12日火・13日水 電話で	契約・許認可申請など行政書類手続きなどに関すること
	公証人相談	19日火 10:00～15:00	遺言・離婚・賃貸借などの公正証書に関すること
	住宅増改築相談	1日・15日の各金 13:00～16:00	住宅の新增改築に関すること
	土地家屋調査士相談	5日火 13:00～16:00	土地境界などの悩み・土地に関すること
南郷区役所 第3会議室	不動産相談	12日・26日の各火 13:00～16:00	不動産売買、アパートなどの賃貸借に関すること
	行政相談	12日火 9:00～12:00	国・県など行政への困りごと、苦情、要望などに関すること
島守市民サービス センター保健相談室	人権相談	12日火 9:00～12:00	夫婦・親子・相続など家庭での困りごと、暮らしの中の人権問題に関すること

※ 法律相談・行政書士相談は予約が必要です。それ以外の相談は、当日受付で先着順となります。

☎ 市民相談室 ☎ 内線 149

3月の健康教室・健康相談

☎ 健康増進課 ☎ 43・9271 ☎ 47・0745

◆お子さんとお母さんの健康教室・健診・相談

内 容	日 時	場 所
両親学級 (妊娠16～31週の 妊婦と夫) ～初めて、パパ・ ママになる方へ～	17日金 9:30～14:30	公会堂文化ホール2階会議室 ☎ 3月6日水～8日金に健康増進課 ☎ 43・2111 内線 510、294 (先着35組：出産予定日5月14日 ～9月1日) ▶赤ちゃんの育て方、お風呂の入れ方 ▶妊婦体験ジャケット試着
赤ちゃん健康相談 (4か月～1歳)	受付 10:00～10:15 相談 10:15～12:00	1日金根城公民館 6日水福祉公民館(類家) 13日水根岸公民館
よちよち健康相談 (1歳～2歳ごろ)	受付 13:00～13:15 相談 13:15～14:30	▶育児・栄養相談、身長・体重測定 ▶持ち物 母子健康手帳、乳幼児 ハンドブック、バスタオル
2～3歳児発達相談 (のびのびクラス、 2歳～概ね3歳6か月)	28日木 9:30～12:00	総合福祉会館「はちふくプラザ ねじょう」 ▶言葉・行動・情緒などの 発達相談
3～5歳児発達相談 (あいあいクラス、概ね 3歳6か月～就学前)	14日木 12:30～15:00	▶就学に向けた発達相談 ▶要予約 ☎健康増進課 ☎ 43・9271
1歳6か月児健康診査 (23年8月生まれ)	1日～15日生まれ…5日火 16日～31日生まれ…19日火 受付 12:00～12:45	総合健診 センター ※対象者には、 事前にお知らせします。
3歳児健康診査 (21年9月生まれ)	1日～15日生まれ…12日火 16日～30日生まれ…26日火 受付 12:00～12:45	
股関節脱臼検診 (生後90日～120日)	毎週水 (20日水を除く) 受付 12:00～12:20	総合健診センター ☎ 45・9131 ▶要予約(受診希望日の2週間前まで) ▶受診料600円 ▶持ち物 母子健康手帳、乳幼児ハ ンドブック、バスタオル
すくすく離乳食教室 (3～4か月の 赤ちゃんの保護者)	8日金 10:30～11:45	福祉公民館(類家) ▶講話、離乳食作りの見学・試食 ▶要予約 ☎健康増進課 ☎ 43・2111 内線 210

◆保健師による健康相談

内 容	日 時	場 所
▷妊娠婦の心や体について ▷子育てについて ▷成人の健康について	月～金 10:00～12:00 13:00～16:00 (20日水を除く)	健康増進課窓口 または ☎ 43・2111 内線 510、517

◆栄養士による個人相談

内 容	日 時	場 所
生活習慣病が気になる 人や子どもの食生活に ついての相談	12日火・26日火 10:00～12:00 13:00～16:00	健康増進課窓口へ

◆精神科医師による精神保健福祉相談(要予約)

内 容	医 師	日 時・場 所
心の病気で 悩んでいる人と その家族の相談	くまがい あきら 熊谷 輝氏	27日水 14:30～15:30 八戸保健所 健康増進課 ☎ 27・5111 内線 285

◆こころの健康相談

内 容	日 時	場 所
ストレスや不安、 悩みを抱えている人の 電話による相談	毎週水 (20日水を除く) 13:00～16:00	健康増進課 ☎ 43・9210 (専用電話)

◆市民健康づくり講座(申し込み不要)

内 容	講 師	日 時・場 所
こどもの中耳炎、 大人の難聴	すざき よう 洲崎 洋氏	7日木 13:30～15:00 はっち

八戸市医師会ホームページの「健康一口メモ」に、過去に開催した医師の健康教室の講演内容を掲載しています。
<http://www.hachinohe.aomori.med.or.jp/ishikai/>

定員 30人
講師 是川縄文館学芸員
持ち物 筆記用具

開催日	時間	内容
29日(金)	午前7時30分 午後6時30分	博物館研修
19日(火)	午後2時～4時	縄文土器作り

ボランティア養成講座(3月分)

講師 縄文是川ボランティア
持ち物 筆記用具

開催日・内容
▽2日(土)縄文土器作り
▽9日(土)合掌土偶作り
▽16日(土)縄文の布を編む
▽23日(土)土製耳飾り作り
▽30日(土)勾玉作り
時間 午後2時～4時
定員 30人

ボランティア学習会(3月分)

是川縄文館
<http://www.korekawa-jomon.jp>
3月の休館日 ⑪⑬⑮⑲⑳㉑㉓
開館時間 9:00～17:00
是川縄文館 TEL 38・9511
FAX 96・5392
分館(縄文学習館) TEL 96・1484

3月の

はちのへ

がく ゆう かん
学・遊・館

各施設の講座・イベントなど

縄文土器作り教室

日時 3月23日(土)午前9時30分～正午
対象 小学4年生以上
定員 30人
材料費 200円

冬季日曜日縄文体験コーナー開催中

開催日 3月31日(日)までの毎週(日)
時間 午前9時30分～午後3時
内容 火起こし・土器の文様拓本・編布・琥珀勾玉作り(粘土を使う体験については要相談)
材料費 200円～1000円

美術館

3月の休館日 ⑪⑬⑮⑲⑳㉑㉓
開館時間 9:00～17:00
TEL 45・8338
FAX 24・4531

コレクション展Ⅲ「舟越保武展」 「生誕百年記念」開催中

期間 3月24日(日)まで
入館料 (一)内は団体20人以上
▽一般 150円(80円)
▽高校・大学生 100円(50円)
▽小・中学生 50円(30円)
※市内小・中学生は無料。高齢者(市内の65歳以上)・障がい者は半額

3月の市民ギャラリー

2日(土)～3日(日)	国際平和ポスター展
8日(金)～10日(日)	三戸シャッタークラブ写真展
15日(金)～17日(日)	輝ける日本の美 三沢水墨画会 西城弘泉展・第19回グループ展

博物館

3月の休館日 ⑪⑬⑮⑲⑳㉑㉓
開館時間 9:00～17:00
TEL 44・8111
FAX 24・4557

企画展「えんぶり展」「ひな人形展」開催中

期間 3月10日(日)まで
入館料 (一)内は団体20人以上
▽一般 250円(130円)
▽高校・大学生 150円(80円)
▽小・中学生 50円(30円)
※市内小・中学生は無料。高齢者(市内の65歳以上)・障がい者は半額

郷土民俗歴史資料館

3月の休館日 ⑪⑬⑮⑲⑳㉑㉓
開館時間 9:00～17:00
TEL 83・2443
FAX 83・2443

企画展「資料館のお宝展」開催中

資料館で収蔵している資料の中から、名品を紹介いたします。
期間 3月24日(日)まで
入館料 (一)内は団体20人以上
▽一般 150円(100円)
▽高校・大学生 100円(50円)
▽小・中学生 50円(30円)
※市内小・中学生は無料。高齢者(市内の65歳以上)・障がい者は半額

児童科学館

3月の休館日 ④⑪⑬⑮⑲⑳㉑㉓
開館時間 8:30～17:00
TEL 45・8131
FAX 45・8132

八戸市少年少女発明クラブ員募集

発明や工作の基礎を学習し、発明くふう展、科学の祭典、ジュニアロボコンなどへ参加します。
活動日時 原則として毎月第1・3(日)(年間25回程度活動) 午前9時～正午
年会費 6800円(保険料含む)
募集人数 20人程度
対象 市内の小学3年生～中学3年生
3月31日(日)午前9時に申込書を直接児童科学館へ来館し提出(申込多数の場合、その場で抽選)。定員に満たない場合、先着順に受付。

わくわくサイエンス

「磁石で実験&おもちゃ作り」

いろいろな磁石を使った実験と、おもちゃ作りを行います。
日時 3月23日(土)午後1時30分～3時
定員 20組
参加費 300円(保険料含む)

科学館KIDS工房

ばっちり！布バッジ、スーパーパー作り、消しゴムねんどなど、さまざまな工作を用意しています。
日時 (土)⑨午前10時～午後4時(受付は午後3時45分まで)
材料費 無料～100円(体験内容

により異なります)

※3月27日(水)～4月7日(日)の春休み
期間中は、毎日開催します。
※小学校3年生以下は保護者同伴

3月のスペシャルナイト

3月23日(土)	3月9日(土)
楽しまナイト劇場	
トムとジェリー ジェリー街へ行く 16:00～ せんせい 17:30～	トムソーヤの冒険 16:00～ 青葉学園物語 17:30～
夜のプラネタリウム	
パンスターズ彗星を見よう! 日本語版 17:00～ 春の星空(生解説) 18:00～	パンスターズ彗星を見よう! 英語版 17:00～ 日本語版 18:00～
市民星空観望会	
早春の星空(月・木星・プレア デス星団 ほか) 4月の部分月 食についてのお話 ほか 18:30～19:45	早春の星空(木星・二重星団・ オリオン大星雲 ほか) オリオン 大星雲についてのお話 ほか 18:00～19:45

映像利用学習会「シルクロードが
巡る世界遺産2 中国編」

日時 3月16日(土)午後1時～3時
講師 大久保和兼氏
定員 100人

春休みおたのしみ劇場

3月27日(水)～4月7日(日)の春休み
期間中、いろいろなアニメなどを上
映します。
時間 午前10時～午後4時

おたのしみ劇場

日時 毎週(土)午前10時～11時

24日(日)	17日(日)	10日(日)	3日(日)
アニメ清水次郎長伝「石松と見受 山鎌太郎」ほくは王さま アニメ清水次郎長伝「石松と都鳥 一家」のぼらの村のものがたり「春 のピクニック」	アニメ清水次郎長伝「石松と見受 山鎌太郎」ほくは王さま アニメ清水次郎長伝「石松と都鳥 一家」のぼらの村のものがたり「春 のピクニック」	アニメ清水次郎長伝「石松と見受 山鎌太郎」ほくは王さま アニメ清水次郎長伝「石松と都鳥 一家」のぼらの村のものがたり「春 のピクニック」	アニメ清水次郎長伝「石松と見受 山鎌太郎」ほくは王さま アニメ清水次郎長伝「石松と都鳥 一家」のぼらの村のものがたり「春 のピクニック」

プラネタリウム

3月の投影番組
「パンスターズ彗星を見よう!」
3月27日(水)～4月7日(日)の春休み期
間中は、1日4回投影を行います。

時間	火～金	土・日・祝
10:00	団体	一般
11:00		
13:30		
15:00	一般	

※途中入場はできません
※入場券は、団体・一般の人は入場できません。

観覧料 (一)内は団体20人以上
▽大人・大学生 250円(130円)
▽高校生 150円(80円)
▽中学生 50円(30円)
▽小学生以下 無料
※(土)祝は、市内の中学生は無料

特別プラネタリウム

季節の星空散歩「春の星空」
日時 3月10日(日)午後1時30分～
生解説・観覧無料です。

http://www.marient.org

産科学館
水科マリエント

3月の休館日
なし
開館時間
9:00～17:00

TEL 33・7800
FAX 33・7801

「ちきゅうたんけんクラブ」会員募集

体験を通して、子どもたちの「科学
する心」を育てる、「ちきゅうたんけん
クラブ」の会員を募集しています。
対象 小学1年生～中学3年生
定員 120人(新規・更新を合わせて)
年会費 500円(別途実費負担あり)

◆3階展示室

「水の生き物 おもしろ企画展」
卒業おめでとう展 開催中
市内の小学校を卒業する子どもた
ちのリクエストによる展示です。

期間 3月31日(日)まで
サケ成長日記
刻々と変わるサケたちの成長をご
覧ください。

期間 5月の放流まで
「マリンレンジャー」による
魚への餌付け&じゃんけん大会
日時 毎週(土)、(祝)正午～
「体験できます!」コーナー
▽タッチ水槽
▽ドクターフィッシュ「ガラ・ルファ」水槽

▽デンキウナギで「ひなまつりツリー」点灯
日時 毎週(土)、(祝)①午前10時30分～
②午後1時～③午後3時～

▽深海水压実験
日時 毎週(土)、(祝)
①午前11時～②午後2時～
▽エサやり体験 随時開催

入館料 (一)内は団体20人以上
▽一般・大学生 300円(150円)
▽高校生 200円(100円)
▽小・中学生 100円(50円)
※高齢者(65歳以上)・障がい者は半額
※入館料は3階のみ

◆4階展示スペース

地震津波写真展 開催中
地震津波の脅威を風化させないた
めに、東日本大震災などの地震津波
の被害状況を写真で振り返ります。
期間 3月31日(日)まで

25年度の4階展示ホール利用者募集中

4階展望レストラン「千陽」
TEL 33・7828
▽昼の部 午前11時30分～午後3時
▽夜の部 予約のみとなります。
▽(土)祝 午前11時30分～午後5時
※月曜定休(祝の場合は翌日)

<http://www.lib.hachinohe.aomori.jp>

図書館

3月の休館日
21 29
開館時間
9:00 ~ 19:00
土日祝 ~ 17:00
TEL 22・0266
FAX 71・1312

新しいことにチャレンジ！

さまざまなジャンルの入門書を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 15日(金)

自分を元気づける本

ちよつとした意識改革で自分を元気にするような本を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 31日(日)

新社会人に贈る本

この春、新社会人になる人、新しい生活を始める人のための本を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 31日(日)

春休みおすすめ本

小学生向け、中・高校生向けのおすすめ本を展示・貸し出します。

期間 3月16日(土) ~ 31日(日)

ガーデニング特集

ガーデニングに関する本を展示・貸し出します。

期間 3月16日(土) ~ 31日(日)

図書館情報センター

3月の休館日
21 29
開館時間
10:00 ~ 20:00
土日祝 ~ 18:00
TEL 70・2600
FAX 70・2601

ミュージック・トラベル開催中

歴代のヒットソングを展示・貸し出します。

期間 3月28日(木)まで

※期間中、展示資料入れ替えあり

春絵本

卒園や入園・入学など新年度に向けて、春をテーマにした絵本を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 28日(木)

南郷図書館

3月の休館日
21 29
開館時間
9:00 ~ 19:00
土日祝 ~ 17:00
TEL 60・8100
FAX 60・8130

あの日を忘れない 3・11

地震や津波、原発問題に関する本を展示・貸し出します。防災に関する本も一緒に紹介します。

期間 3月1日(金) ~ 28日(木)

わたし達に会いに来て

新着図書として受け入れ後、未読のままの本を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 28日(木)

MOE絵本屋さん大賞特集

第5回MOE絵本屋さん大賞をもとに集めた絵本を展示・貸し出します。

期間 3月1日(金) ~ 28日(木)

1日体験！図書館司書

図書館の仕事を体験したい人を募集します。本の貸出や、図書館スタッフへの質問コーナーなど盛りだくさんのイベントです。

日時 3月28日(木) 午前10時 ~ 正午

対象 小学生、中学生

申込締切日 3月27日(水)

リサイクルプラザ

3月の休館日
4 11 18 25
開館時間
9:00 ~ 17:00
TEL 70・2396
FAX 23・5396

エコ布ぞうり作り教室

着古したTシャツで布ぞうりを作ります。

開催日 3月9日(土)

時間 午前9時 ~ 正午

定員 4人

持ち物 着古したTシャツ4枚(なるべく大きいもの)、洗濯ばさみ2個、裁ちばさみ、30cm定規

申込期間 2月22日(金) ~ 3月8日(金)

エコたわし作り教室

洗剤なしでもきれいに洗えて手にもやさしいエコたわしを作ります。

日時 3月17日(日) 午前9時 ~ 正午

市民伝言板

ジュニア・スクール初級講座

日時 毎週(土) 11:00 ~ (4月から) 場所 マグチダンススクール(柏崎一丁目) 内容(財)日本ボールルームダンス連盟公認のスクールで、社交ダンスを通して挨拶やマナーなどを学びます。対象 15歳までの男女 受講料 無料(通信費など4か月3,000円別途) 申込 マグチダンススクール TEL/FAX 44・9654 E tsunezi@htv-net.ne.jp URL http://www.htv-net.ne.jp/~tsunezi

浜の祝・郷土料理「八戸くじら汁」教室 参加者募集

日時 3/7、14、21の各(土) 10:00 ~ 13:00 場所は ち5階食のスタジオ 参加料 無料 持ち物 エプロン、持ち帰り用容器 申込 特定非営利活動法人海の八戸 NPO TEL/FAX 35・4370

平成24年度八戸大学人間健康学部公開講座

日時 3/9(土) 13:00 ~ 17:00 場所は ち2階シアター2 テーマ 未来へのメッセージ~健康と福祉を考えよう 入場料 無料 申込 八戸大学・八戸短期大学総合研究所 TEL 25・2789 FAX 25・1968 E research@hachinohe-u.ac.jp

定員 4人

持ち物 毛糸30g程度(アクリル

100%、並太、着古したセーター、マフラーをほどこいたものでも可)、かぎ針1本(7~7.5号)

申込期間 2月22日(金) ~ 3月16日(土)

山の楽校

3月の休館日

④ ⑪ ⑮ ⑲ ⑳

開館時間

8:30 ~ 16:30

TEL 82・2222

FAX 82・2222

山の楽校3月のイベント

講座		日時	受講料
そば打ち体験	黒豆・六穀みその楽校	10日⑤ 午前9時～正午	1000円
玄米こうじ味噌の楽校		24日⑤ 午前9時～正午	6000円
			5000円

はっち

http://hacchi.jp

3月の休館日 ⑫
こどもはっち
⑤ ⑫ ⑮ ⑲ ⑳
開館時間
9:00 ~ 21:00
こどもはっち
9:30 ~ 16:30
TEL 22・8228
FAX 22・8808

はちのへ雛めぐり

【展示】

期間 3月1日⑤～24日⑤

時間 午前9時～午後6時

場所 3階ギャラリー3

内容 世代を超えて愛されてきた美しい雛人形を展示します。

【なりきりおひなさま】

開催日 3月3日⑤

時間 ①午前10時30分～11時30分
②午後1時30分～2時30分

場所 3階和のスタジオ

対象 2歳～小学2年生

内容 こどもたちが衣装を着て、お

雛様になりきることが出来ます。カメラを持参いただければ、自由に写真撮影ができます。

④ こどもはっち TEL FAX 22・5822

【お茶席】

開催日 3月9日⑤、16日⑤

時間 午前11時～午後3時

場所 3階和のスタジオ

参加料 一服200円

和日カフェ～日本文化に親しむ日～

日時 3月17日⑤ 午前10時～午後3時

場所 3階和のスタジオ ほか

内容 さまざまな日本文化を観て・体験できる、こどもから大人まで楽しめる企画が満載です。3月は着物ショーのほか、飾り巻き寿司教室、日本舞踊発表などを開催します。

参加料 一部実費負担（材料費など）

モヨッテ参道の日

開催日 3月16日⑤、17日⑤

内容 毎月第3⑤⑥は、街も人も装う「モヨッテ参道」の日。中心街におしゃれして出かけると、協力店で特別なサービスが受けられます。また、はっちでは、ポイントカードを発行しています。スタンプをためるとモヨッテラー缶バッジをプレゼントします。

モヨッテウォーク

日時 3月17日⑤ 午後1時～2時

集合場所 1階インフォメーション前

場所 1階はっちひろば～中心商店街

内容 みんなでおしゃれして、中心街のショップを巡るツアーです。

手仕事人の小さな暮らしと市

開催日 3月23日⑤、24日⑤

時間 午前11時～午後5時

場所 1階はっちひろばギャラリー1

内容 八戸近郊の作家によるクラフト市です。今話題の奥入瀬モスボール工房「こけ丸め職人」起田高志さんによるこけ玉づくりなど、ものづくり体験も開催します。

はっちツアーーズ

ボランティアガイドと一緒に、館内の展示やショップなど、オススメ情報を聞きながら巡るツアーです。

日時 3月17日⑤ 午前11時～正午

集合場所 1階インフォメーション前

参加料 100円（ガイドブック代）

ものづくりスタジオ入居者およびカフェ出店者募集

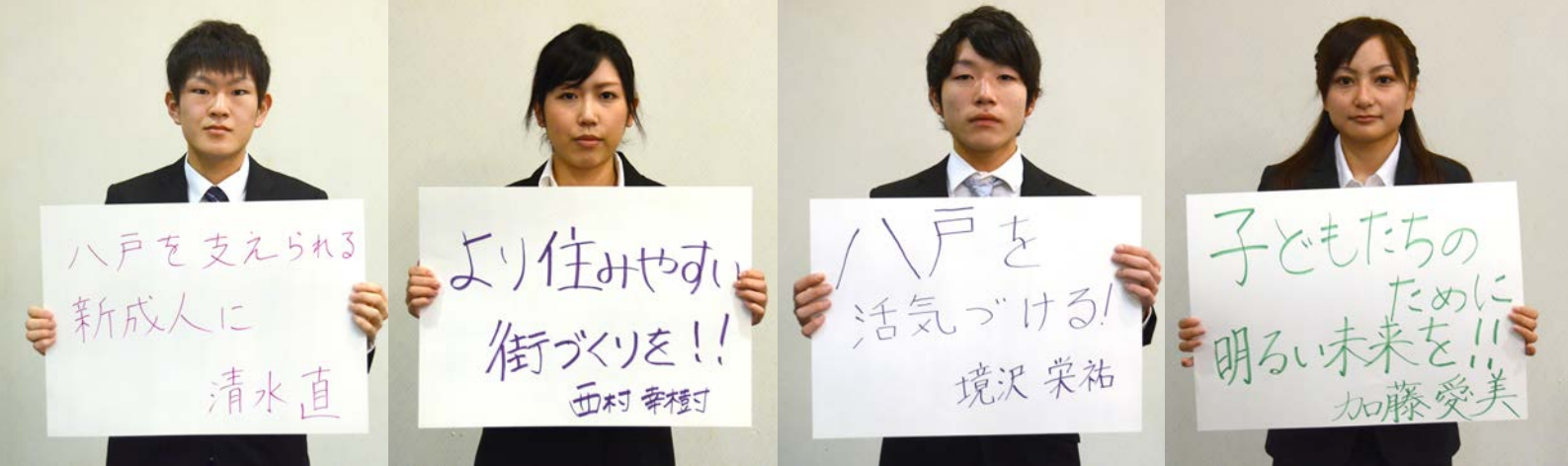
7800円



はっちでは、4階「ものづくりスタジオ」と1階「カフェ」の入居者・出店者を募集しています。

	ものづくりスタジオ	カフェ
募集場所	クラフト系ものづくりスタジオ 2か所	1階カフェスペース
月額基本使用料	15,000円＋売上歩合（月額売上額から300,000円を控除した額の100分の5に相当する額）	184,000円＋売上歩合（月額売上額から2,300,000円を控除した額の100分の8に相当する額）
申請書配布場所	はっち、市庁本館・別館案内、南郷区役所、各公民館・市民サービスセンターで配布（市およびはっちホームページからダウンロード可）	
申込方法	申請書に必要事項を記入し、3月15日⑤までに簡易書留での郵送か直接はっちへ持参	申請書に必要事項を記入し、3月31日⑤までに簡易書留での郵送か直接はっちへ持参
営業予定日	4月1日以降	4月中旬の入居決定後1か月以内

④ 八戸ポータルミュージアム TEL 22・8228 FAX 22・8808



新成人代表者と市長との懇談会 八戸の現在・未来を語る

1月13日、市体育館において、「平成25年八戸市成人式」が開催されました。成人式に先立ち、昨年11月25日、新成人代表者12人が小林市長と八戸のまちづくりについて懇談し、新成人に八戸について感じることや新成人になっての目標などを聞きました。

☎ 社会教育課 ☎ 43・9154 FAX 47・4997



将来の夢・ 今の八戸について感じる事

笹田 八戸に戻り高校で数学を教えることが夢。八戸は四季がはっきりしており、非常に過ごしやすい気候。こうしたまちの良さを周りに伝えていけるよう、もつと地元のことを勉強したい。

長根 体の不自由な人や貧しい人の支援に貢献したいと考えている。世界には衣食住で困っている子どもたちがまだたくさんいる。そんな人たちが笑顔で自分たちの夢を語れるような世の中になるよう願っている。その実現のために尽力したい。

熊野 どんな形でもいいので八戸の発展に貢献したいと考えている。子どもたちが安心して遊べる環境整備が進むことを望んでおり、そのために役立ちたい。

澁谷 今のところ具体的な将来の展望を決めていないが、ぜひ八戸で仕事をしたいと考えている。残りの学生生活の中でいろいろな経験を積み、適性をみつけて就職につなげたい。

関下 専門性を生かして、薬品を研究・開発する仕事に就きたい。八戸の人は温かく、笑顔があふれる人が多く、非常に住みやすいまちだと感じている。市民が一つになり元気あるまちにしたい。

古里 将来は電気系の分野の仕事をすることを希望している。旅行が好きで



新成人代表者と市長との懇談会出席者

【新成人代表者】（敬称略・五十音順）			
かとう 加藤	なるみ 愛美	きんだいち づ ほ 金田一知都穂	くまの 熊野ひとみ
さかいざわ 境沢	えいすけ 栄祐	ささだ みあき 笹田 水晶	しぶたに けんすけ 澁谷 健介
しみず 清水	ただし 直	せきたあす か 関下明日香	なかじま 中島 由和
ながね 長根	え み 愛美	にしむら ゆ き 西村 幸樹	ふるさと こういち 古里 洸一
【八戸市】			
こばやしまこと 小林 眞 市長		まつやまたかよ 松山隆豊教育長	
【司 会】			
やまだのおや 山田修也(社)八戸青年会議所副理事長（当時）			

県外に出ることも多いが、外に出ることとで八戸の自然の豊かさを客観的に見ることができた。この素晴らしいさを自らPRできたと思う。

金田一 今、学校で学んでいることを生かして福祉の分野で働きたい。専門的に福祉を学んでいく中で八戸の高齢化率の高さを知った。これからの世代を担うのは私たちになる。今日のこの機会に、自分の生まれ育ったまちのことを知り、将来は八戸に貢献したいと考えている。

清水 将来は地域の人に貢献できるような公務員を志望している。生まれ育った八戸へは強い愛着を持っている。より多くの観光客に八戸を訪れてもらいたい。

加藤 将来は保育士を志望している。地元にある東北フリースタイルズ、ヴァンラーレ八戸といったスポーツチームの持つ魅力や、体を動かすことを通して、子どもたちにスポーツの楽しさを伝えていくことが夢。

中島 今年、北九州で行われたB-1グランプリに参加してきた。ゴールドグランプリ獲得の瞬間を目にし、八戸のいいところを多くの人に伝えたいという思いが強くなった。最高の結果を残すことができたが、まちおこしはまだ終わりではないと感じている。これから八戸とせんべい汁のさらなる知名度アップを目標に活動に携わり続け

たい。

西村 看護実習を通じて、高齢者の方から方言を教えてもらったり、自分の知らないまちの歴史を教えてもらったことができて、高齢者との交流に面白さを見いだした。高齢者と若い人が交流する機会が増えればいいと考えている。

境沢 今、古着屋でアルバイトをしているが、その中で接客の楽しさや洋服を売ることに面白さを感じている。将来は自分の店をもてたい。八戸は生まれ育ったまちだが、まだ知らないことが多いと感じている。

市長 私が生まれ育った頃は、まだ臨海部が開発される前だった。そんな時代を、海からまちができていく様子を見ながら育ってきた。八戸は、日本の高度経済成長期に短期間で急激に発展したまち。

北東北随一の規模を誇る工業港、漁獲高が全国でトップ10に入る漁港、多様な農産物が取れる農業、さらには来年（25年）国立公園に編入される種差海岸といった美しい自然も備えている。こうした多様なまちの魅力を若い皆さんと共有しながらまちづくりを進めていきたい。

これからの八戸

産業・雇用

長根 若い人が働ける場が少ない。新卒者だけでなく、幅広い年代の人に対して雇用の場が確保されるよう切望している。

市長 どんなにまちに愛着を持っても雇用がなければ、若い人はまちを出ていかなければならない。そういう状況にはならないようにしなければならぬ。経済環境は厳しいが、八戸には優良企業や、これから可能性がある企業、そして能力の高い人材を求めている企業がある。

若い皆さんが地元で定着できるように、企業誘致には継続的に取り組んでいきたい。

福祉・医療・子育て

長根 夜になると車イス利用者が使えるトイレの多くが暗くなり、また数も少ないため不便だと感じている。こうした状態を解消するため、まちのバリアフリー化に少しでも貢献できたらいいと考えている。

加藤 保育士としてこれから子どもたちと関わるが多くなると思う。笑顔で子どもたちに接し、八戸のいいところを伝えていきたい。

市長 「八戸の人は笑顔で暮らしている」という発言があった。次々と観光



資源を掘り起こし売り出していくということも大事だが、安心・安全の八戸のライフスタイルを売り出すことがいいのではと考えている。その一つとして、バリアフリー化に力を入れるという方法もある。

食・文化・観光

境沢 様々な都市機能が備わっているまちとして認識されている反面、県外の人には、種差海岸や蕪島のような豊富な自然や美しい風景があることはまだよく知られていないように感じる。こうした素晴らしい自然が県外へもうまくPRされたいと思う。

西村 種差海岸やせんべい汁といった観光資源をうまく宣伝したい。他のまちから八戸へ移り住んでもらえるようなPRがほしい。

古里 先日、函館を訪れる機会があった。函館ではイカ型のロボットを制作し、地域の祭りなどで展示し、PRしているという話を耳にした。八戸もイカのまちとして他のまちに負けないイメージアップを図ってほしい。

中島 八戸には、せんべい汁、いちご煮のような有名な郷土料理がある。「ここにいけば食べられる」という情報があれば、はっちや八戸駅など観光客が多く訪れる場所にあればいい。

澁谷 宣伝効果はテレビによる効果が一番大きいのでは。例えばある番組で

紹介された商品が、放送後売り上げを大幅に伸ばしたという話を聞いたことがある。八戸にはB-1グランプリでゴールドグランプリを獲ったせんべい汁という素晴らしい素材があるので、それをどうにかメディアに乗せて宣伝できないものか。

笹田 CMによる宣伝も効果的だと考えるが、多大なコストがかかる。駅や電車の中に一目で分かる広告を打ち出すのはどうか。

清水 食や文化などをはじめ誇れるものが多くあり、こうした魅力を伝えることで少しでも若い人が地元で定着してくれればいい。八戸駅と中心街が離れて発展したまち。八戸駅周辺の開発が進めば活気が出るのではないか。

金田一 八戸駅西口の整備を進めているが、まちの玄関口として東口の整備も進めてもらいたい。

市長 八戸駅は明治時代に今の場所に駅を設置することを決めた経緯がある。経済成長の見込みや市の財政状況から考慮すれば、これから八戸駅を市のもの一つの中心として整備することは難しいと考えている。空港が郊外に位置しているように、八戸駅も郊外においてターミナルのような役割を果たしていることを認識してもらった方がいい。

中心街

金田一 若い人がもっと、はっちなど

に興味をもってもらいたい。

熊野 若者が気軽に利用できるスペースが少ない。ショッピングモールなど商業施設の整備をしてもらいたい。また、自由に学習できるスペースが、はっちの中にあってもいいのでは。

澁谷 中心街でイベントを開催しても、「いつ」、「どこで」開催しているのかがあまり伝わってこない。目につく場所にイベントを案内する電光掲示板を設置してはどうだろうか。集客のために有名人を呼んで、無料でせんべい汁やイカを提供するイベントがあってもよい。

市長 はっちは、イベントがあるとき、ないときによってまだ来館者には波があり、若い世代への定着という点ではまだ満足していないが、幅広い年齢層に受け入れられている。また、県外から、はっちを訪れる専門家たちからも好評を得ている。はっちには「まちに行ったら何か面白いことがある」と思わせる機能を持たせたいと考えている。泊り込んで製作できるスペースも整備してあるし、いろんなことができる仕掛けがあるので、若い皆さんには「何かやろう」という意識を持って使いたい。

都市環境

関下 まちに緑があふれ、海が近く自然環境には非常に恵まれていると感じる。食べ物もおいしく、安心して生活



できるまち。

笹田 水産業や農業が八戸の産業を支えていると考えている。後継者不足は全国的な問題ではあるが、こうした産業が衰退しないように後継者を育てることが重要だと考えている。また、公園の遊具が小さい頃に比べて年々撤去されているように感じ、寂しく思う。

長根 普段フットサルをプレイしていることがきっかけで、先日、なでしこジャパン佐々木則夫監督の講演を聞いた。八戸は全国的にみても女子サッカー人口が多いということを知った。フットサルコートも市内に数箇所あり、女子サッカーが広がる裾野がある。地域のスポーツをきっかけにまちが盛り上がることを望んでいる。

加藤 東北フリーブレイズやヴァンラーレ八戸の観戦がまだ市民に定着していないように感じる。観戦の面白さをより多くの人と共有したい。

市長 公園整備には、安全への配慮が第一にあり、定期的な遊具の交換を行う中で規模が縮小しているところもあるかもしれない。市では、平成23年に八戸公園内に「三八五・こども館」を開館させ、子どもの遊ぶ場を増やす努力をしている。私自身もヴァンラーレ八戸のサポーター一号として応援している。今年には東北社会人1部リーグ昇格を果たしたところであり、今後はJ1昇格を目標に、地域リーグからJFLへのステップアップ

プを目指している。チームが強くなれば自然と盛り上がり、サポーターも増えてくれるものである。東北フリーブレイズにしても、アイスホッケーのトップチームの試合が八戸にいながら生で見られるというのは大変な貴重な機会。ぜひ多くの人に足を運んでももらいたい。

市長・教育長から新成人へエール

市長 皆さんが八戸に愛着を持っていることに感動した。震災では、ボランティアセンターで活躍したのは、皆さんと同世代の高校生、大学生といった若い人たちだった。地域ではまだまだ若い力を求めており、皆さんの活躍の場がある。皆さんには、町内会活動やその他地域とのつながりの中で責任をもった活動のできる成人になることを期待している。

教育長 今日は皆さんから市政に対する前向きな意見や、郷土を思う気持ちを聴かせてもらい、八戸で学び育った皆さんがしっかりと育っていることを実感し、大変頼もしく思った。八戸に住む人は「温かく、笑顔がいい」という意見をいただいたが、八戸の財産はここに住む人だと考えている。「自分なら何ができるか」という当事者意識を常に持ち、社会に貢献する新成人として活躍してほしい。

学校(教育)支援ボランティアが行く

○学校支援コーディネーターとは？

地域密着型教育推進事業や学校支援地域本部事業実施校に、1～3人配置されています。

学校支援ボランティア人材バンクの作成、人材バンク登録者や地域と学校が必要とする支援について調整、地域学校連携協議会の準備、検討した支援の実施に関することなど、学校と地域の橋渡し役をしています。

○学校(教育)支援ボランティアをしてみませんか？

子どもたちによりよい教育環境を提供するため、また、地域との関わりからふるさとに誇りと愛着をもつ子どもを育てるため、ぜひ一緒に活動しましょう。

※現在、教育支援ボランティアではバスケットの部活動指導補助ができる人を探しています。登録をお願いします。

昔のおそび
お手玉を教えてくださいました



キャリア教育「未来への架け橋講座」就職するまでのこと、仕事内容などいろいろ話してもらいました



○ボランティア活動紹介

「総合学習ボランティア」

総合的な学習の時間に行われる体験学習などの充実のため、持っている知識や技能を生かしてさまざまな学習指導をしています。

主に次のような活動を行っています。

- ▽地域の歴史やお祭りの講話
 - ▽伝統芸能の指導
 - ▽職業に関する学習活動の講師
 - ▽短歌や俳句などの指導
 - ▽パソコンの指導 など
- 総合学習ボランティアは、子どもたちの学びをより深めてくれる心強い味方といえます。

地域のこどもたちを皆さんで育みましょう！

関社会教育課 ☎ 43・9154 FAX 47・4997

種差海岸・
国立公園指定はもうすぐ！

国立公園を活用した地域づくり

関観光課 ☎ 内線 524 FAX 46・5600



種差トレッキングのようす (淀の松原)

種差海岸は5月に三陸復興国立公園に指定される予定ですが、指定まで残すところ約3か月となりました。

種差海岸が国立公園に指定されるにあたって、これまで対象となるエリアや制度、種差海岸の魅力について紹介してきました。国立公園は我が国の風景を代表するに足る傑出した自然の風景地であり、全国に30か所しかない国立公園に新たに指定されることは大変喜ばしいことです。指定後は、国立公園というブランド力により、全国からの利用者が増加し、八戸市だけではなく三陸全体に様々な効果が波及するといったメリットも期待されます。

また、国立公園指定と関連した取り組みとして、蕪島から福島県相馬市の松川浦までをつなぐ「東北太平洋岸自然歩道構想」や、三陸海岸において地球活動の歴史を実際に見る



地引網体験のようす (白浜)

ことができる地域で構成し、世界への情報発信をめざす「三陸ジオパーク構想」などがあり、種差海岸を含む三陸全体の自然を活用した取り組みに、より一層の盛り上がりが期待されます。

しかし、国立公園指定をどのように活かしていくかは、私たちの今後の取り組みにかかっています。

市民の皆さんが誇りに思えるような、そしてたくさんの人に自慢したくなる美しい自然環境を保全しつつ、観光資源として活用できるよう、皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。皆さんの応援が、種差海岸地域の活性化だけでなく、八戸市全体、そして三陸全体の活性化につながっていきます。指定に向けてさまざまなイベントも行われる予定ですので、積極的な参加をお待ちしています。